別紙

令和８年度

大分市行政評価に関する
大分市行政評価・行政改革推進委員会　意見書

令和８年１１月

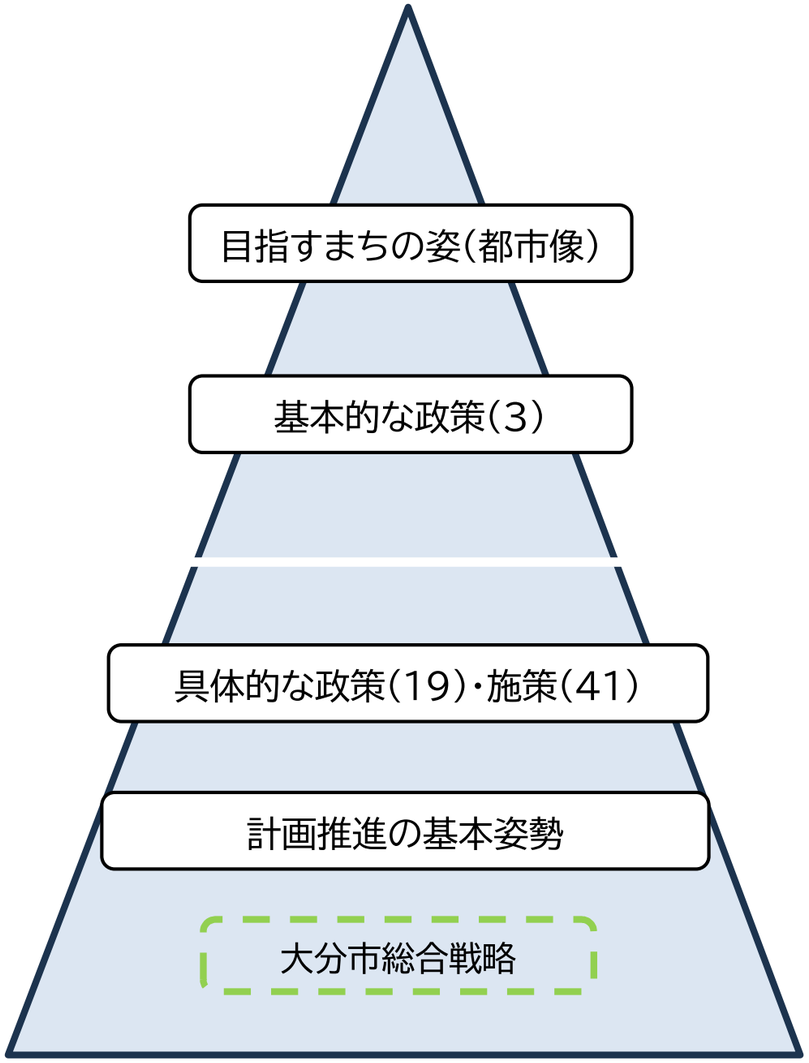
大分市行政評価・行政改革推進委員会

【概要】政策・施策評価について

総合計画の体系図

基本構想

基本計画



各施策には、まちづくりの課題に対する達成度を表すものとして目標設定をしている。政策・施策評価においては、設定した各「目標」を「評価指標」として取り扱い、施策の進捗状況等を評価するものである。

なお、総合戦略は、総合計画の主な取組と整合性を図るなか、「まち・ひと・しごと創生」のための施策を集中的・重点的に推進する計画として位置付けており、総合計画との一体的な施策の推進に取り組むものである。

大分市総合計画　政策体系に基づく評価

政策 19	施策 41	事務事業 約1,300
【こども・子育て支援の充実】	◆こども･子育て支援の充実	大分市にこにこ保育支援事業 私立保育所等給付費 子ども家庭支援センター事業
【豊かな人間性の創造】	◆生きる力をはぐくむ学校教育の充実 ◆こどもたちの学びを支える教育環境の充実 ◆社会教育の推進と生涯学習の振興	児童育成クラブ事業 児童手当給付事業
・・・・・		・・・・・

①政策評価

・社会情勢や市民ニーズと目標が合致しているかを評価

↓

・改善すべき課題や、さらに発展させるべき課題について指標などにより評価

↓

・施策の見直しにより政策の改善を図る

②施策評価

・目標達成度とそれによる効果と経費を評価

↓

・市民ニーズや満足度を踏まえ、施策展開の状況を評価

↓

・次年度以降の施策展開の方針決定･重要施策の選定に活用

③事務事業評価、④実施計画

・必要性、有効性、効率性、公平性等の観点で評価

・施策の目標、方針達成のための貢献度を評価

↓

・予算編成に反映

・事務事業の見直しに反映

・重点事業の決定

政策・施策評価とは・・・

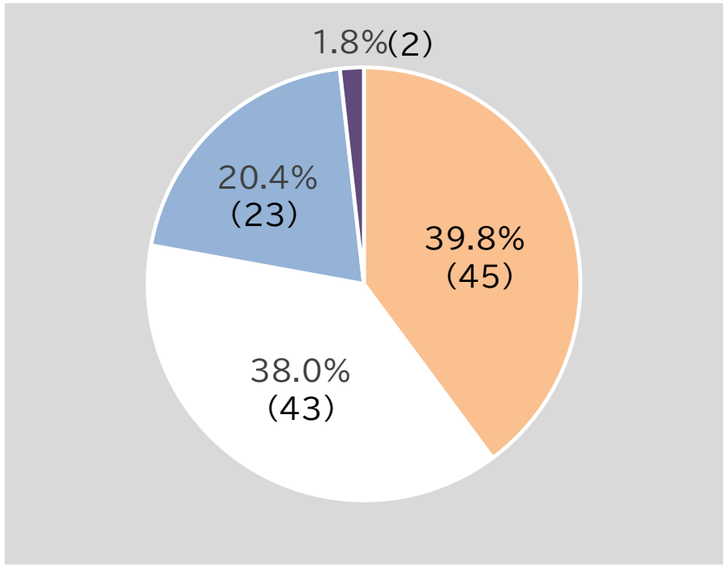
①総合計画に掲げられた目標について、社会情勢や市民ニーズに合致しているかを評価するため、指標などを設定し、改善すべき課題やさらに発展させるべき取組等について指標の変化を読み取りながら評価することによって、施策の見直しを行う中で政策の改善を図る。

②部局内における全ての施策について、政策の概要及び施策の目標や達成度を検証し、施策全体の中でどの施策の成果が向上したか等を分析することにより、施策展開の状況を評価し、その結果を踏まえ、次年度以降の施策展開の方針や重要施策の選定等に活用する。

施策の評価指標の達成状況

総合計画に掲げる各施策に対しては、令和7年度の計画値および令和11年度の目標値を設定している。令和7年度計画の達成状況は、計画値や目標値を達成した指標および計画値の90%～100%未満の指標の合計が約78%であることから、概ね順調に施策を展開していると評価できる。

全　体



・・・計画値(※1)や目標値(※2)を達成(100%以上)

・・・計画値の90%～100%未満

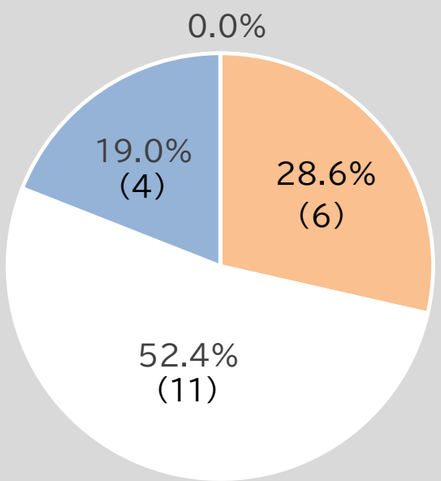
・・・計画値の50%以上～90%未満

・・・計画値の50%未満

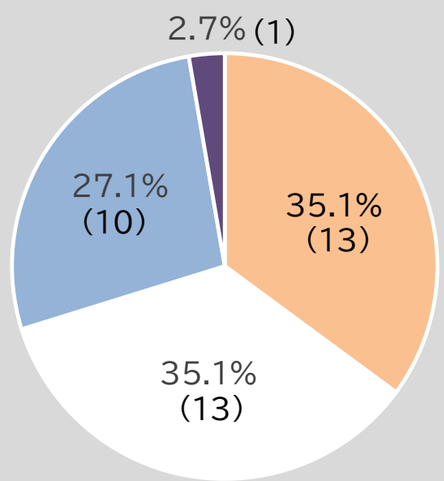
(※1)総合計画に定めた評価指標の令和7年度に設定した計画値

(※2)総合計画に定めた評価指標の令和11年度における目標値

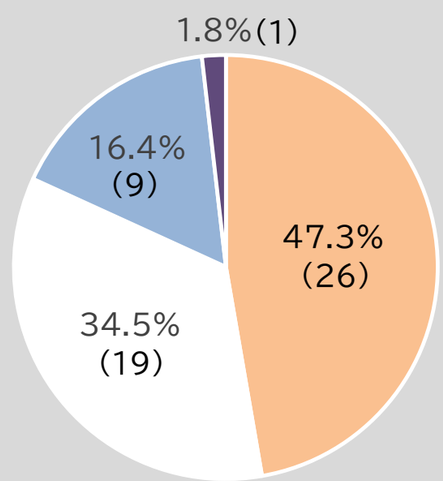
1. 豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち



2. 共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち



3. 新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち



次ページ以降の個票は、総合計画に掲げた、以下の3つの基本的な政策に沿って、それぞれの政策内に設定している評価指標の令和7年度計画に対する達成状況（実績）を用いて評価を行った。

第1部：豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち

第2部：共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち

第3部：新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち

令和8年度政策・施策評価　個票（第1部：豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
01	豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち	01	こども・子育て支援の充実	01	こども・子育て支援の充実	市民部 福祉保健部 子どもすこやか部 教育部	「安心して子育てができている」と感じる市民の割合（市民意識調査）		55.80%	64.00%	57.4%	54.9%	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							「地域で子育てが支えられている」と感じる市民の割合（市民意識調査）		41.10%	55.00%	43.9%	40.2%	c	3点	計画値の90%以上	
		02	豊かな人間性の創造	02	生きる力をはぐくむ学校教育の充実	子どもすこやか部 教育部	国・県・市主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合	○	小学校　100% 中学校　82.6% （2023年度実績）	小学校　100% 中学校　100%	小学校100% 中学校95.0%	小学校86.6% 中学校60.8%	d	2点	計画値の50%～90%	B 概ね順調に施策を展開している
							「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合	○	小学校　84.6% 中学校　81.2% （2023年度実績）	小学校　90.0% 中学校　90.0%	小学校86.0% 中学校86.0%	小学校88.2% 中学校91.0%	b	4点	計画値を達成	
							新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合	○	小学校　79.6% 中学校　83.7% （2023年度実績）	小学校　85.0% 中学校　88.0%	小学校80.9% 中学校83.9%	小学校78.7% 中学校84.3%	c	3点	計画値の90%以上	
							授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した児童生徒の割合	○	小学校　55.4% 中学校　60.6% （2023年度実績）	小学校　80.0% 中学校　90.0%	小学校60.0% 中学校70.0%	小学校67.8% 中学校82.7%	b	4点	計画値を達成	
				03	こどもたちの学びを支える教育環境の充実	子どもすこやか部 教育部	「児童生徒一人ひとりの状況に応じた教育的支援が実施されている」と感じる保護者の割合		78.20%	90.00%	80.0%	60.7%	d	2点	計画値の50%～90%	B 概ね順調に施策を展開している
							「時代の変化に対応した教育環境が整備されている」と感じる保護者の割合		75.00%	85.00%	77.0%	74.9%	c	3点	計画値の90%以上	
							「こども一人ひとりの個性を認め、伸ばしていく指導が行われている」と感じる保護者の割合		74.10%	85.00%	77.0%	66.7%	d	2点	計画値の50%～90%	
							「学校が地域と連携してこどもたちの教育活動を支えている」と感じる保護者の割合		76.20%	85.00%	77.0%	69.5%	c	3点	計画値の90%以上	
							「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と思う児童生徒の割合		小学校　71.8% 中学校　69.2% （2023年度実績）	小学校　90.0% 中学校　90.0%	小学校74.0% 中学校74.0%	小学校75.2% 中学校85.2%	b	4点	計画値を達成	
				04	社会教育の推進と生涯学習の振興	市民部 教育部	「社会教育施設において、学びの機会が提供されている」と感じる市民の割合（市民意識調査）		50.60%	70.00%	54.0%	49.6%	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							「地域社会の中でこどもたちが健全に育成されている」と感じる市民の割合（市民意識調査）		45.60%	70.00%	50.0%	45.5%	c	3点	計画値の90%以上	
							地区公民館及び地区人権教育（尊重）推進協議会の地区懇談会等への参加者数		9,446人 （2023年度実績）	11,000人	10,000人	10,345人	b	4点	計画値を達成	

令和8年度政策・施策評価　個票（第1部：豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
01	豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち	03	スポーツの振興	05	スポーツの振興	企画部	「週1回以上運動・スポーツを実施する」と答えた市民の割合（市民意識調査）	○	35.70%	70.00%	42.6%	42.8%	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							「年1回以上スポーツ観戦する」と答えた市民の割合（市民意識調査）		12.60%	15.00%	13.1%	14.8%	b	4点	計画値を達成	
		04	個性豊かな文化・芸術の創造と発信	06	個性豊かな文化・芸術の創造と発信	企画部 都市計画部 教育部	「文化・芸術が盛んなまちである」と感じる市民の割合（市民意識調査）		41.40%	46.00%	42.0%	41.1%	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							「文化施設（公設、民間問わず）の機能や施設数などが充実している」と感じる市民の割合（市民意識調査）		53.00%	58.00%	54.0%	50.8%	c	3点	計画値の90%以上	
							「地域の歴史や文化資源に親しむ機会がある」と感じる市民の割合（市民意識調査）		44.10%	60.00%	47.0%	44.7%	c	3点	計画値の90%以上	
		05	国際化の推進	07	国際化の推進	企画部	「国籍や民族、文化等の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちである」と感じる市民の割合（市民意識調査）		39.70%	48.10%	48.1%	40.4%	d	2点	計画値の50%～90%	B 概ね順調に施策を展開している
							「国際交流する機会が身近にある」と感じる市民の割合（市民意識調査）		21.20%	25.70%	25.7%	23.2%	c	3点	計画値の90%以上	

基本政策
平均達成度

3.10点

（総合評価）
A･･･3.5点以上
B･･･2.5点以上3.5点未満
C･･･1.5点以上2.5点未満
D･･･1.5点未満

令和8年度政策・施策評価　個票（第1部：豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち）

内部評価

分　析

【こども・子育て支援の充実】
・専門職（保健師・助産師・看護師）による訪問体制の構築で、高い全戸訪問率とハイリスク家庭への集中支援を両立。給付金事業との連動により訪問拒否家庭も把握できている。
・待機児童数は、令和2年度以降連続0人を達成しており、市全体としては保育ニーズに見合う量の定員確保ができつつある。
・放課後児童クラブについては、共働き世帯の増加や地域開発によるニーズの増加に対し、受入体制の拡大に取り組んでいる。

【生きる力をはぐくむ学校教育の充実】
・評価指標である「国・県・市主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合」については、38教科中27教科（71.1%）が全国平均以上であったが、昨年度より17.8ポイント低下したことから、原因を調査・研究するとともに、授業改善や教員の授業力の向上を図る必要がある。
・「自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合」については、各学校での考え・議論する道徳の実現に向けた多様な指導方法等により計画値を上回る成果であった。

【こどもたちの学びを支える教育環境の充実】
・評価指標である「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思う児童生徒の割合」については、学校と教育委員会が連携して、いじめの未然防止や早期発見・早期対応の徹底等により計画値を上回る成果であった。

【社会教育の推進と生涯学習の振興】
評価指標である「社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じる市民の割合」及び「地域社会の中でこどもたちが健全に育成されていると感じる市民の割合」については計画値を上回ることはできなかったが、電子書籍の導入や本のリサイクルフェア、図書館福袋などの各種取組などにより、これらの指標は計画値を上回るなどの一定の成果はあった。

【スポーツの振興】
県民スポーツ大会での総合優勝や、スポーツコミッション推進事業における合宿誘致団体数の増加、公共施設案内・予約システムの利用拡大など、競技力向上やスポーツによる地域活性化、市民サービスの向上につながる成果が見られた一方で、一部事業では参加者数や利用者数が計画値に達しなかったことから、事業内容の充実や情報発信の強化を図り、さらなるスポーツ活動の促進に取り組む必要がある。

【個性豊かな文化・芸術の創造と発信】
評価指標である「地域の歴史や文化資源に親しむ機会があると感じる市民の割合」については計画値を上回ることはできなかったが、史跡大友氏遺跡整備基本計画（第一期）令和5年度改訂版の策定やFUNAIジュニアガイド等による各種情報発信、ルイス・デ・アルメイダ生誕500年記念フォーラムの開催等により一定の成果はあった。

【国際化の推進】
計画通りの事業実施を行い、また、事業実施後のアンケート結果でも理解度・満足度は概ね高い結果となっている。また、参加者数・参加団体数も概ね計画通り・もしくは計画以上の推移となっているが、評価指標である「国籍や民族、文化等の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちである」と感じる市民の割合（市民意識調査）は計画値を達成できなかった。

評　価	B	概ね順調に施策を展開している

01「こども・子育て支援の充実」は、全ての指標において計画値の90%以上を達成している。
03「こどもたちの学びを支える教育環境の充実」における「児童生徒一人ひとりの状況に応じた教育的支援が実施されている」と感じる保護者の割合、「こども一人ひとりの個性を認め、伸ばしていく指導が行われている」と感じる保護者の割合など4個の指標は計画値を下回ったものの、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と思う児童生徒の割合は小学校75.2%・中学校85.2%、また、02「生きる力をはぐくむ学校教育の充実」における「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合は小学校88.2%・中学校91.0%と計画値を達成している。
さらには、04「社会教育の推進と生涯学習の振興」、05「スポーツの振興」、06「個性豊かな文化・芸術の創造と発信」などにおいても、計画値を達成し、または計画値の90%以上を達成していることなどから、B評価とした。

今後の施策展開

【こども・子育て支援の充実】
令和2年4月に待機児童の解消を達成したところであるが、保育の需要は依然高い状況が続いている。今後も保育ニーズの動向を見ながら、待機児童ゼロの継続と、未入所児童数の削減に向けて必要な定員の確保に努めるほか、保育ニーズの変化を踏まえ、未入所児童に必要な保育サービスがマッチングできる体制の整備も求められていることから、施設等の情報提供や保育に関する相談・助言を行う専門相談員（保育コンシェルジュ）を配置するなか、きめ細かな支援体制を継続していく。
また、高い保育ニーズに加え、就学後の児童育成クラブに対するニーズも増加しており、民間放課後児童クラブの活用も含め、さらなる定員拡大やサービスの質の向上に向けた取り組みを行っていく必要がある。

【生きる力をはぐくむ学校教育の充実】
こどもを取り巻く環境が大きく変化する中、多様な個々の状況に応じて「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性」の確かな学力の育成を図る必要がある。
また、生涯にわたり運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成するとともに、生活習慣の確立や学校保健の推進等により、心身の健康の増進と体力向上を図る必要がある。

【こどもたちの学びを支える教育環境の充実】
こどもの将来が家庭の経済状況等により左右されないよう、各種支援の充実を図る。特に、いじめ・不登校対策については、一人1台端末による心の健康観察等により、児童生徒一人ひとりの心や体調の変化を早期に把握するとともに、不安や悩みを気軽に相談できる環境づくりを進める。

【社会教育の推進と生涯学習の振興】
生涯学習社会の実現に向け、市民の幅広いニーズや現代的・社会的課題に対応できる支援体制の充実が必要であることから、社会教育施設の機能、市民の学習と活動を支援する機能を充実させるとともに、効率的・効果的な生涯学習情報の提供により、利用者の利便性を向上していく必要がある。
加えて、少子高齢化や地域のつながりの希薄化等により、こどもを取り巻く環境が変化する中、学校・地域が連携、協働し、より多くの地域住民がこどもたちの成長を支えることができる基盤の整備が必要である。

【スポーツの振興】
令和9年度は、新たな施設へのスマートロックの導入やアーバンスポーツ施設整備後の効果検証を進めるとともに、スポーツフェスタや合宿誘致等の充実、地域スポーツ活動の推進を図り、スポーツを通じた地域活性化や交流人口の拡大に取り組む。

【国際化の推進】
大分市内の外国人住民数の急増や、国籍・在留資格・年齢等の多様化が今後さらに見込まれることから、多文化共生に寄与する取り組みが今後さらに求められると考える。姉妹友好都市をはじめとする海外都市との交流については、目的・費用対効果・波及効果を踏まえながら、本市の国際化の推進に寄与する途切れのない交流を目指す。

【参考】・（緑）重点事業　・（黒）主な事業

【01 こども・子育て支援の充実】
・大分市里帰り出産家庭支援事業
・産後ケア事業
・私立保育所等キャッシュレス化推進事業
・乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）
・子ども医療費助成事業
・私立保育所等給付費
・子ども家庭センター事業
・児童育成クラブ事業
【02 生きる力をはぐくむ学校教育の充実】
・大分っ子学習力向上推進事業
・教育の情報化推進事業
・特別支援等教育活動サポート事業
【03 こどもたちの学びを支える教育環境の充実】
・休日部活動地域展開体制整備事業
・日本語指導等支援事業
・就学援助事業（返還免除型）
・心の健康観察事業
・メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援事業
【04 社会教育の推進と生涯学習の振興】
・科学体験イベント実施事業
・電子書籍・システム導入・利用促進事業
【05 スポーツの振興】
・スポーツコミッション推進事業
・アーバンスポーツ魅力創出事業
【06 個性豊かな文化・芸術の創造と発信】
・アーティストバンク推進事業
・大友氏遺跡歴史公園整備事業
【07 国際化の推進】
・おおいた多文化共生ともだちプロジェクト

委員会意見

・こども一人ひとりの個性を認め、伸ばしていく指導を行うためには、校則や学校の決まりなどを一方的に指導・強制するのではなく、その目的について児童・生徒の十分な理解を得る必要があることから、丁寧な説明に努めてもらいたい。
・「里帰り出産家庭支援事業」について、市内で子育てする住民への支援を優先すべきとの声も聞かれることから、当該事業の意義について丁寧な説明と理解促進に努めてもらいたい。
・未入所児童数は改善傾向にあるものの、育児休業から復職する際、希望施設へ入所できないケースが依然として存在する。引き続き未入所児童の解消に向けて取り組んでもらいたい。
・台風等の際、学校・認可保育施設が一律休止となる一方で、職場は通常通り業務を行う場合がある。学校・認可保育施設は、休止に関する細かな判断基準を整備するとともに、企業に対しては、リモートワークを推奨するよう働きかけてもらいたい。

令和8年度政策・施策評価　個票（第2部：共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
02	共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち	06	地域コミュニティの活性化	08	地域コミュニティの活性化	市民部	おおむね小学校区単位で取り組むまちづくり推進組織の数	○	23校区（2023年度実績）	35校区	29校区	28校区	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
						土木建築部	「市民主体によるまちづくりが行われている」と感じる市民の割合（市民意識調査）		27.00%	50.00%	50.0%	26.8%	d	2点	計画値の50%～90%	
		07	人権尊重社会の形成	09	人権教育・啓発の推進	総務部	人権啓発センター（ヒューレおおいた）利用者数		37,320人（2023年度実績）	56,000人	56,000人	49,876人	d	2点	計画値の50%～90%	A 順調に施策を展開している
						市民部	「講演会参加者の『今後に活かせる』と感じた割合」		-（2025年度開始）	90.00%	90.0%	94.2%	a	5点	目標値を達成	
				10	男女共同参画社会の実現	市民部	固定的な性別役割分担意識に反対する人の割合		86.30%（2023年度実績）	100%	90.7%	89.1%	c	3点	計画値の90%以上	A 順調に施策を展開している
							女性委員の構成比率が3割以上である委員会等の割合	○	42.80%（2023年度実績）	50%以上	45.2%	47.1%	b	4点	計画値を達成	
		08	社会福祉の充実	11	地域福祉の推進	福祉保健部	「地域福祉の推進」の施策に関する市民の満足度（市民意識調査）		2.95点／5点	3.10点／5点	2.95点	3.18点	a	5点	目標値を達成	A 順調に施策を展開している
							アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の相談受付件数		18件（2023年9月～2024年3月実績）	500件（2025～2029年度の累計見込）	100件	206件	b	4点	計画値を達成	
				12	高齢者福祉の充実	福祉保健部	「高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なサービスが提供されている」と感じる市民の割合（市民意識調査）		48.20%	55.00%	49.6%	46.7%	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							人との交流の場に週1回以上参加する高齢者の割合（市民意識調査）	○	26.40%	33.30%	27.8%	26.5%	c	3点	計画値の90%以上	
							認知症サポーター数	○	52,530人（2023年度実績）	64,000人	56,354人	56,816人	b	4点	計画値を達成	
				13	障がい者（児）福祉の充実	福祉保健部 子どもすこやか部 教育部	ヘルプマークの年間交付件数		600件（2023年度実績）	800件	800件	725件	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							大分市障がい者相談支援センター相談件数	○	16,360件（2023年度実績）	20,000件	20,000件	19,536件	c	3点	計画値の90%以上	
							就労支援サービス年間利用者数	○	3,191人（2023年度実績）	3,800人	3,800人	3,609人	c	3点	計画値の90%以上	
							当事者団体等との年間連携件数		18件（2023年度実績）	23件	23件	14件	d	2点	計画値の50%～90%	
							手話通訳者の新規登録者数		63人（2023年度末時点全登録者数）	4人／年	4人／年	3人/年	d	2点	計画値の50%～90%	

令和8年度政策・施策評価　個票（第2部：共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
02	共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち	08		14	社会保障制度の充実	市民部 福祉保健部	特定健康診査受診率		34.50% （2023年度実績）	60.00%	40.0%	34.7%	d	2点	計画値の50%～90%	B 概ね順調に施策を展開している
							生活保護受給者就労支援事業により就労を開始した人の数		172人 （2023年度実績）	740人 （2025～2029年度の累計見込）	148人	145人	c	3点	計画値の90%以上	
		09	健康の増進と医療体制の充実	15	健康づくりの推進	福祉保健部	健康寿命の延伸		男性 健康寿命：80.82年 平均寿命：82.42年 女性 健康寿命：84.84年 平均寿命：88.25年 （2023年度実績：2018年～2022年の5年間の平均値）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	男性 健康寿命：80.77年 平均寿命：82.33年 女性 健康寿命：84.84年 平均寿命：88.17年 （2025年度実績：2020年～2024年の5年間の平均値）	b	4点	計画値を達成	B 概ね順調に施策を展開している
							自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）		13 （61人） （2023年度実績）	11.6以下 （54人以下）	11.6以下 （54人以下） （R6年度）	15.5 （72人） （R6年度）	d	2点	計画値の50%～90%	
							MR（麻しん・風しん混合）ワクチンの1期、2期の接種率		1期：92.9% 2期：93.6% （2023年度実績）	1期：95.0%以上 2期：95.0%以上	1期：95.0% 2期：95.0%	1期：97.9% 2期：91.7%	c	3点	計画値の90%以上	
				16	地域医療体制の充実	福祉保健部	「安心して必要な医療が受けられる」と感じる市民の割合（市民意識調査）		62.20%	70.00%	63.80%	61.70%	c	3点	計画値の90%以上	A 順調に施策を展開している
							大分県感染症対策連携協議会への参画数		0回 （2025年度開始）	延べ5回 （5年間）	1回	1回	b	4点	計画値を達成	
				17	清潔で安全な生活環境の確立	福祉保健部	「飲食店や理美容所、公衆浴場などの施設が清潔に保たれており、安心して利用できる」と感じる市民の割合（市民意識調査）		72.60%	75.00%	75.00%	71.90%	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							「人と動物が共生する社会が実現している」と感じる市民の割合（市民意識調査）		42.10%	50.00%	50.00%	40.90%	d	2点	計画値の50%～90%	
		10	防災・減災の向上	18	防災・減災・危機管理体制の確立	総務部 福祉保健部 土木建築部 都市計画部	防災訓練を実施した自主防災組織割合		62.70% （2023年度実績）	100%	62.70%	78%	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							「家庭内備蓄を行っている」と答えた市民の割合（市民意識調査）	○	34.00%	55.00%	34.00%	32.70%	c	3点	計画値の90%以上	
				19	流域全体の関係者で行う災害対策等の推進	総務部 農林水産部 土木建築部 都市計画部 上下水道局	「災害対策の取組がすすみ、安心なまちづくりが実現した」と感じる市民の割合（市民意識調査）		38.50%	42.40%	38.50%	38.50%	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							大雨が予想される場合の水害監視カメラ映像の視聴者数及び視聴回数	○	249人・1,143回/日 （令和5年度6～10月平均） （2023年度実績）	増　加	249人・1143回/日	618人・6,274回/日	a	5点	目標値を達成	
							雨水排水ポンプ場等の総排水能力	○	113.6㎥/秒 （2023年度実績）	125.4m3/秒	114.6㎥/秒	114.6㎥/秒	b	4点	計画値を達成	

令和8年度政策・施策評価　個票（第2部：共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
02	共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち	11	安全・安心な暮らしの確保	20	消防・救急体制の充実	消防局	住宅火災件数		32件（2019～2023年度の5年間の平均値）	32件未満	31件	35件	d	2点	計画値の50%～90%	C 施策展開における改善が必要
							消防団員数	○	2,063人（2023年度実績）	2,063人以上	2,175人	2,019人	c	3点	計画値の90%以上	
							目の前で倒れた心肺停止傷病者に対して、救急隊到着までに行った応急手当実施率	○	82.40%（2023年度実績）	85.00%	85.0%	67.8%	d	2点	計画値の50%～90%	
				21	交通安全対策の推進	市民部 土木建築部 都市計画部 教育部	年間交通事故発生件数		1,230件（2023年度実績）	1,200件以下	1,200件以下	1,065件	a	5点	目標値を達成	A 順調に施策を展開している
							年間交通事故死者数及び重傷者数の計		113人（2023年度実績）	100人以下	100人以下	122人	d	2点	計画値の50%～90%	
				22	犯罪のないまちづくりの推進	市民部 教育部	刑法犯認知件数		1,385件（2023年度実績）	1,200件以下	1,200件以下	1,855件	e	1点	計画値の50%未満	D 施策展開における見直しが必要
				23	健全な消費生活の実現	市民部 商工労働観光部	消費者啓発講座の受講者数		2,795人（2023年度実績）	3,000人	3,000人	3,172人	a	5点	目標値を達成	A 順調に施策を展開している

基本政策
平均達成度

3.16点

（総合評価）
A･･･3.5点以上
B･･･2.5点以上3.5点未満
C･･･1.5点以上2.5点未満
D･･･1.5点未満

令和8年度 政策・施策評価　個票（第2部：共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち）

内部評価

分　析

【地域コミュニティの活性化】
まちづくり協議会の増加により達成度がCに上昇。また地域コミュニティ創造事業（R7廃止）の受講者数やあなたが支える市民活動応援事業の申請団体数においても目標値を達成しており、施策の評価指標・主要事業の達成度平均は一昨年と比較し上昇した。その他事業についてもおおむね前回並みとなり、施策の総合的な達成度合いについては概ね計画どおりで進んでいる。
【人権教育・啓発の推進】
「人権啓発センター（ヒューレおおいた）利用者数」は計画値には届かなかったものの前年度より実績を増やしている。また、「講演会参加者の『今後に活かせる』と感じた割合」は目標値を上回る94.2%の人が『今後に活かせる』と回答している。以上により概ね順調に施策を展開していると評価する。
【男女共同参画社会の実現】
「おおいたパートナーシップ宣誓制度　制度内容の認知度」については、計画値を大きく下回る数値となった。性的マイノリティの当事者が当制度を利用しやすい環境を整えるために、人権啓発イベント等の場において、引き続き制度を周知していく必要がある。
【地域福祉の推進】
社会福祉法第106条の3に基づき、地域住民等及び支援関係機関による、地域福祉の推進のための相互の協力が円滑に行われ、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制を強化することが求められており、重層的支援体制整備事業を実施している。本事業の中のアウトリーチ等を通じた継続的支援事業では、必要な支援が届いていない人を把握し、適切な機関につなぐ取組を行っており、令和7年度は計画値を大幅に上回る相談実績を上げることができた。そのほかにも、地域福祉計画に記載する取り組みを推進することで、市民満足度の向上に寄与したものと考えており、達成度合いとしては計画以上で推移している。
【高齢者福祉の充実】
今後、高齢者人口は増え続けていくことが予想され、高齢化率の上昇とともに、認知症高齢者やひとり暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯が増加することが想定されている中、保健、医療、介護の多職種が連携することで自立支援や重度化防止につながる取り組みを推進することや、高齢者が尊厳を持ち、心身の状況や居住環境に応じて、自分らしく安心して生活ができるよう支援することが必要であり、おおむね計画通りの進捗状況となっている。
【健康づくりの推進】
健康教育、健康相談ともに、回数、参加人数ともに増加しており、ニーズの高さがうかがえる。反面、参加している人は健康に関心が高いと思われる人であり、健康に関心が薄い層にも働きかけていく必要がある。幅広い年代、属性で展開できるよう、健康推進員や食生活改善推進員等の地区組織や関係機関と連携しながら事業を実施していく。
また、市内献血者数、ドナー申請者数ともに、達成率100%以上と計画値を達成しているものの、ドナー登録者数は減少傾向にあるため、事業継続のための取組を続けていく必要がある。
【防災・減災・危機管理体制の確立】
令和3年に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者ごとに個別避難計画を作成することが市町村の努力義務になったが、本市では、個別避難計画の作成を平成27年12月から、個別避難計画の地域への提供を平成28年6月から行っており、災害時に実効性のある避難支援が行われるような自主防災組織の体制づくりを促進している。また、同意書未返信者や個別避難計画未返信者への対策として、同意書または個別避難計画の再送付等の取り組みを行っており、同意書返信率及び個別避難計画策定進捗率の向上に努めている。
【消防・救急体制の充実】
防火・防災対策、消防力の充実、警防・救助体制の強化など、多くの事業において計画どおり又は計画以上の成果が得られた。一方で、住宅火災件数が目標値を達成できなかったほか、消防団員数の減少や応急手当実施率の低下などの課題が見られた。

評　価	B	概ね順調に施策を展開している

08「地域コミュニティの活性化」における「市民主体によるまちづくりが行われている」と感じる市民の割合（市民意識調査）、20「消防・救急体制の充実」における住宅火災件数など11個の指標は計画値を下回ったものの、11「地域福祉の推進」における「地域福祉の推進」の施策に関する市民の満足度（市民意識調査）は3.18点、19「流域全体の関係者で行う災害対策等の推進」における大雨が予想される場合の水害監視カメラ映像の視聴者数及び視聴回数は618人・6,274回/日など5個の指標は目標値を達成している。
また、12「高齢化福祉の充実」における認知症サポーター数は56,816人、18「防災・減災・危機管理体制の確立」における防災訓練を実施した自主防災組織割合は78%など8個の指標は計画値を達成するとともに、13「障がい者（児）福祉の充実」における就労支援サービス年間利用者数、14「社会保障制度の充実」における生活保護受給者就労支援事業により就労を開始した人の数、16「地域医療体制の充実」における「安心して必要な医療が受けられる」と感じる市民の割合（市民意識調査）など13個の指標は、計画値の90%以上を達成していることなどから、B評価とした。

今後の施策展開

【地域コミュニティの活性化】
本施策を推進する事業の多くは、市民が主体的にまちづくりに取り組むための一助となるものであり、引き続きこれらの事業を推進する。また、まちづくりを推進する組織を増やしていくことは、特に重要な取組の一つであることから、より多くの校区で導入されるよう制度の改善に努め、もって市民協働のまちづくりを実現していく。
【人権教育・啓発の推進】
大分市人権教育・啓発基本計画の重要8課題の解決に向けて、各種施策に取り組んできた。近年の社会情勢の変化に伴い、インターネット上での悪質な誹謗・中傷や人権侵害などの新たな問題が生じるなど、人権問題は複雑化・多様化している状況にある。このような中、令和8年4月に「大分市一人ひとりが互いの人権を尊重し合う社会づくり条例」を制定し、あらゆる人権課題の解決に積極的に取り組む姿勢を明確に示した。同じく令和8年4月に大分市人権教育・啓発推進懇話会と大分市同和対策協議会を統合し大分市人権施策推進審議会を発足させた。さらには、令和8年度中には大分市人権教育・啓発基本計画の改訂も予定しており、今後も関係機関と連携し、あらゆる人権問題の解決に向けた人権教育・啓発の取組を一層推進していく。
【健康づくりの推進】
市民との協働による健康づくりを推進するためには、食生活改善推進員や健康推進員等の住民組織の活動が不可欠であり、引き続き養成に努めていくとともに、市民の健康づくりに関する意識の向上及び健康づくりを支援する環境づくりを促進し、生活習慣病やその他の疾病の予防に取り組む。
【防災・減災・危機管理体制の確立】
防災知識の普及啓発が実施できるよう、引き続き、防災士のフォローアップ研修を開催し、最新の防災情報や市の取組に加え、防災訓練について周知するとともに、災害に強いまちづくりを進めるため、市民と行政、防災関係機関が一体となった危機管理体制を確立していく。
【消防・救急体制の充実】
複雑多様化する救急需要へ適切に対応するため、医療機関や関係機関との緊密な連携・協力を一層推進するとともに、市民への応急手当の普及啓発や救急資器材の高度化を図り、さらなる救急・救助体制の充実に取り組む。また、激甚化・頻発化する自然災害や大規模災害による被害を最小限に抑えるため、消防車両や資機材等の計画的な整備を進めるとともに、防災関係機関との緊密な連携・協力を推進し、さらなる災害対応能力の向上を図る。
加えて、消防団員数の減少が続く中、地域防災力の維持・向上を図るため、効果的な広報活動による入団促進を進めるとともに、消防団活動の負担軽減や活動環境の充実に取り組み、持続可能な消防団運営を推進する。
【犯罪のないまちづくりの推進】
高齢者世帯を対象とした特殊詐欺被害防止対策事業を中心に、防犯意識の高揚を図るとともに、防犯灯、防犯カメラ設置事業等の防犯環境整備の継続、犯罪被害者等の支援を総合的に推進していく。

【参考】・(緑)重点事業　・(黒)主な事業

【08 地域コミュニティの活性化】
・地域づくり交付金
・若者活躍推進事業
・地域のきずな交流会開催等事業
【10 男女共同参画社会の実現】
・パートナーシップ宣誓制度推進事業
【11 地域福祉の推進】
・被災者見守り・相談支援事業
・重層的支援体制整備事業
【12 高齢者福祉の充実】
・要介護認定業務DX化事業
【13 障がい者（児）福祉の充実】
・福祉タクシー助成金事業
【15 健康づくりの推進】
・予防接種事業
【16 地域医療体制の充実】
・画像診断等AI導入費助成事業
・大分市地域医療情報ネットワーク整備事業
【18 防災・減災・危機管理体制の確立】
・被災者台帳システム事業
・被災者救援物資等備蓄事業
・避難所等整備事業
【19 流域全体の関係者で行う災害対策等の推進】
・水害時避難支援事業
【20 消防・救急体制の充実】
・マイナ救急実施事業
・消防団車庫詰所整備事業
【22 犯罪のないまちづくりの推進】
・特殊詐欺被害防止対策事業
・防犯カメラ設置補助事業
・防犯灯補助事業

委員会意見

・交通安全対策において、年間の交通事故件数は目標達成している一方で、死者・重傷者数は目標未達であるにもかかわらず、総合評価は「順調に施策を展開している」となっている。重大と思われる指標が未達の場合には、評価条件を設定するなど、評価方法を見直してもらいたい。
・人口減少が進むなか、企業・自治会・商店街等の民間の力を活用した地域づくりの取組を、「施策の評価」や「今後の施策展開」の欄に積極的に反映してもらいたい。
・「男女共同参画社会の実現」では、審議会等における女性委員の登用率について、一部の分野で低い状況が見受けられる。意思決定の場への女性参画をより一層推進してもらいたい。
・犯罪認知件数の増加については、高齢者などを標的とした特殊詐欺の増加が一因と考えられる。地域コミュニティの強化が犯罪抑止にも寄与すると考えられることから、安心して暮らせるまちの実現に向けて、コミュニティ施策との連携を意識して取り組んでもらいたい。

令和8年度政策・施策評価　個票（第3部：新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
03	新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち	12	DXの推進	24	DXの推進	企画部 教育部	「各種行政窓口・行政手続が利用しやすい」と感じる市民の割合（市民意識調査）		51.20%	63.00%	53.60%	55.90%	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							DXの推進により市民サービスの向上や業務の効率化に取り組んだ業務数（累計）	○	- （2025年度開始）	延べ100（5年間）	20件	47件	b	4点	計画値を達成	
							情報セキュリティ研修の受講率 全職員（100%）		96.00% （2023年度実績）	研修受講率 全職員 100%	100.0%	99.0%	c	3点	計画値の90%以上	
							ICT講習会受講者数（累計）	○	75,702人 （2023年度実績）	87,000人	79,000人	80,518人	b	4点	計画値を達成	
							eラーニング及び研修の受講者数（累計）	○	eラーニング　70人 その他研修　338人 計408人 （2023年度実績）	2,000人	400人	540人	b	4点	計画値を達成	
		13	快適な生活環境の確立	25	脱炭素社会の実現に向けた取組	環境部	大分市全体の温室効果ガス排出量（特定事業所を除く）《基準年度（2013 年度：3,448千t-CO_2）との比較値》		33.6%減 《2,291千t-CO_2》 （2021年度実績）	50%以上削減 （2030年度）	2,517千t-CO2 （2022年度計画）	（2022年度実績） 29.0%減《2,448千t-CO2》	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							大分市全体の温室効果ガス排出量（特定事業所）《基準年度（2013 年度：23,557千t-CO_2）との比較値》		16.6%減 《19,655千t-CO_2》 （2021年度実績）	30%削減 （2030年度）	19,816千t-CO_2 （2022年度計画）	（2022年度実績） 9.7%減《21,271千t-CO2》	c	3点	計画値の90%以上	
				26	循環型社会の形成	環境部	ごみ排出量	○	153,356t （2023年度実績）	147,647t	152,295t	147,492t	a	5点	目標値を達成	A 順調に施策を展開している
							最終処分率	○	7.80% （2023年度実績）	5.80%	6.50%	7.30%	c	3点	計画値の90%以上	
							リサイクルに取り組んでいる市民の割合（大分市「ごみ減量・リサイクル」及び「家庭ごみ有料化制度」に関する市民意識調査）		93.30% （2023年度実績）	95.00%	93.30%	94.70%	b	4点	計画値を達成	
				27	公害の未然防止と環境保全	環境部	大気汚染物質に係る環境基準達成項目		10項目 （2023年度実績）	11項目	11項目	9項目	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							公共用水域の環境基準（BOD,COD）達成率		89.50% （2023年度実績）	100%	100.00%	89.47%	d	2点	計画値の50%～90%	
							「公害等で困ることなく生活できる環境である」と感じる市民の割合（市民意識調査）		47.30%	57.60%	49.30%	47.80%	c	3点	計画値の90%以上	
				28	豊かな自然の保全	環境部 都市計画部	「身近なところに、自然に触れあえる場所や環境教育に触れる機会がある」と感じる市民の割合（市民意識調査）		50.60%	60.90%	60.90%	50.40%	d	2点	計画値の50%～90%	C 施策展開における改善が必要

令和8年度政策・施策評価　個票（第3部：新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
03	新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち	14	活気ある商工業・流通の展開	29	商工業・サービス業の振興	商工労働観光部	「地域経済の活性化や雇用創出の場が増加した」と感じる市民の割合（市民意識調査）		19.20%	21.70%	19.70%	18.90%	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							中心部商店街の空き店舗率	○	10.00% （2024年9月時点実績）	4.60%	4.60%	8.17%	d	2点	計画値の50%～90%	
				30	流通拠点の充実	商工労働観光部	「安全・安心で品質の高い生鮮食料品等が流通している」と感じる市民の割合（市民意識調査）		68.10%	72.00%	68.9	65.6	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
						農林水産部	「物流が滞りない」と感じる市民の割合（市民意識調査）		56.10%	61.60%	57.20%	54.50%	c	3点	計画値の90%以上	
		15	特性を生かした農林水産業の振興	31	農業の振興	市民部	新規就農者数（累計）	○	179人 （2023年度実績）	284人	212人	221人	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
						農林水産部	主要品目の販売額	○	52億689万円 （2023年度実績）	55億6000万円	531,563千円	524,616千円	c	3点	計画値の90%以上	
							集落の共同活動により、維持・管理している農地の面積	○	903ha （2023年度実績）	945ha	917ha	917ha	b	4点	計画値を達成	
				32	林業の振興	農林水産部	林業就業者数	○	108人 （2023年度実績）	120人	112人	99人	d	2点	計画値の50%～90%	B 概ね順調に施策を展開している
							乾しいたけ生産量	○	27.7t （2023年度実績）	29.5t	28t	※11月頃確定	-	-	-	
							森林整備面積（累計）	○	31.5ha （2023年度実績）	181.0ha	81ha	94.14ha	b	4点	計画値を達成	
				33	水産業の振興	農林水産部	新規就業者数（累計）	○	46人 （2023年度実績）	94人	62人	69人	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							ブランド魚種の漁獲量	○	164t （2023年度実績）	200t	196t	229.4t	a	5点	目標値を達成	
							増殖場の造成面積（累積）	○	87,728㎡ （2023年度実績）	144,000㎡	116,000㎡	101,317㎡	c	3点	計画値の90%以上	
		16	魅力ある観光の振興	34	魅力ある観光の振興	商工労働観光部	観光入込客数	○	4,049,298人 （2023年実績）	5,180,000人	4,940,000人	4,845,385人	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							観光宿泊客数		1,036,274人 （2023年実績）	1,100,000人	1,060,000人	1,302,589人	a	5点	目標値を達成	
							外国人観光宿泊客数	○	34,338人 （2023年実績）	102,000人	86,000人	76,680人	d	2点	計画値の50%～90%	

令和8年度政策・施策評価　個票（第3部：新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標									内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）			
03	新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち	17	安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	35	安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	商工労働観光部	ハローワーク大分管内における新規求職申込者の就職率	○	33.30%（2023年度実績）	37.00%	36.60%	30.10%	d	2点	計画値の50%～90%	B 概ね順調に施策を展開している
							UIJターン就職者数	○	315人（2021～2023年度の累計）	485人（2025～2029年度の累計見込）	97人	73人	d	2点	計画値の50%～90%	
							おおいた勤労者サービスセンターの会員数	○	23,316人（2023年度実績）	25,000人	23,900人	24,012人	b	4点	計画値を達成	
		18	快適な都市構造の形成と機能の充実	36	計画的な市街地の形成	市民部 商工労働観光部 土木建築部 都市計画部	都市機能誘導区域内に立地する誘導施設の割合	○	79.20%（2023年度実績）	80%以上	増加	79.6%（2024年度）	b	4点	計画値を達成	B 概ね順調に施策を展開している
							居住推奨区域内の人口密度	○	52.0人/ha（基準年：2020年）	現状維持（人口減少下）	現状維持	51.0人/ha	c	3点	計画値の90%以上	
							幹線道路整備延長（累積）		286.4Km（2023年度実績）	291.3Km	288.0km	288.1km	b	4点	計画値を達成	
							「心のバリアフリー」という用語の認知度（市民意識調査）		40.00%	50%以上	40.0%	39.7%	c	3点	計画値の90%以上	
							長寿命化修繕計画における市道橋の修繕数		36橋（2023年度実績）	124橋	54橋	31橋	d	2点	計画値の50%～90%	
				37	交通体系の確立	土木建築部 都市計画部	鉄道の乗車人員	○	30,259人/日（2023年度実績）	33,000人/日	30,715人/日	32,020人/日（2024年度）	b	4点	計画値を達成	B 概ね順調に施策を展開している
							路線バスの乗車人員	○	8,767千人/年（2023年度実績）	9,600千人/年	8,905千人	8,276千人（2024年度）	c	3点	計画値の90%以上	
							タクシーの乗車人員	○	3,223千人/年（2022年度実績）	4,495千人/年	3,586千人	3,201千人（2024年度）	d	2点	計画値の50%～90%	
							「自転車を週5日以上利用する」と答えた市民の割合（市民意識調査）	○	9.10%	10.00%	9.28%	8.70%	c	3点	計画値の90%以上	
		19	安定した生活基盤の形成	38	水道の整備	上下水道局	基幹管路の耐震適合率		71.3%（2023年度実績）	77.30%	73.90%	74.20%	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							給水拠点用資機材の確保状況		57箇所分（2023年度実績）	125箇所分	100箇所分	100箇所分	b	4点	計画値を達成	
							建設改良積立金		37億円（2023年度実績）	65億円	45億円	45億円	b	4点	計画値を達成	
							水道水の水質基準適合率		100%（2023年度実績）	100%の維持	100%	99.92%	c	3点	計画値の90%以上	

令和8年度政策・施策評価　個票（第3部：新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち）

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

基本政策（部・大事業）		政策（章・中事業）		施策（節）		部局名	評価指標								内部評価
コード	名称（略称）	コード	名称（略称）	コード	名称（略称）		指標名	総合戦略	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）		
03	新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち	19	安定した生活基盤の形成	39	下水道の整備	環境部 上下水道局	汚水処理人口普及率		87.80%（2023年度実績）	95.00%	90.60%	89.03%	c	3点	計画値の90%以上	B 概ね順調に施策を展開している
							都市浸水対策達成率		75.00%（2023年度実績）	76.90%	75.50%	75.70%	b	4点	計画値を達成	
							重要な幹線の耐震化率		42.60%（2023年度実績）	53.10%	45.90%	45.10%	c	3点	計画値の90%以上	
							単年度収支の黒字化		未達成（2023年度）	達成	0千円	△347,389千円	e	1点	計画値の50%未満	
							放流水の水質基準適合率		100%（2023年度実績）	100%の維持	100.0%	100.0%	a	5点	目標値を達成	
				40	安全で快適な住宅の整備	市民部 土木建築部 都市計画部	住宅の耐震化率	○	88.10%（2023年度実績）	93.00%	92.61%	92.62%	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							老朽危険空き家等に対する大分市の支援を利用して行われた除却件数（累計）	○	130件（2023年度実績）	238件	13件	15件	b	4点	計画値を達成	
				41	公園・緑地の保全と活用	都市計画部	施設整備を行った公園の割合		0%（2025年度開始）	100%	5.00%	5.00%	b	4点	計画値を達成	A 順調に施策を展開している
							バリアフリートイレの整備率		31.30%（2023年度実績）	33.90%	31.82%	32.60%	b	4点	計画値を達成	
							「身近なところで緑を感じたり親しむ事ができている」と感じる市民の割合（市民意識調査）		75.10%	75.70%	75.22%	73.50%	c	3点	計画値の90%以上	

基本政策平均達成度

3.34点

（総合評価）
A･･･3.5点以上
B･･･2.5点以上3.5点未満
C･･･1.5点以上2.5点未満
D･･･1.5点未満

令和8年度 政策・施策評価　個票（第3部：新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち）

内部評価

分　析

【DXの推進】
AIチャットボットやオンライン申請の運用により、開庁時間外においても行政手続や問合せが可能な環境が構築され、市民利便性の向上に大きく寄与していると評価できる。
庁内業務においては、生成AIやkintone等のデジタルツールの活用により、業務効率化・省力化に向けた取組が着実に進捗している。加えて、デジタル人材育成研修および情報セキュリティ研修の受講状況も良好であり、職員のリテラシー向上への成果に繋がっている。
【脱炭素社会の実現に向けた取組】
評価指標の大分市全域の温室効果ガス排出量については、市民、事業者、行政が連携した温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施する中で、第4期大分市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の2030年度目標に向けて、おおむね計画どおりに推移していると言える。
【商工業・サービス業の振興】
商店街活性化事業補助金を活用し、商店街ではイベントの開催やプレミアム付商品券発行事業が行われ商店街の活性化は図られたものの、商店主の高齢化や後継者不足により解散・廃止となる商店街団体もあり、商店街の会員数は減少していることから、引き続き商店街のにぎわいづくりに取り組んでいく必要がある。
【農業の振興】
夏場の猛暑の影響で生育の停滞や品質低下が起こり、主要品目の産出額が減少した品目もあるが、おおむね計画どおり推移しており、農地集積率は、農地中間管理機構との連携により、計画を上回る進捗状況である。
【林業の振興】
林業就業者数は、計画値に届かず基準値を下回っている状況である一方、森林整備面積は、森林環境譲与税を活用することで計画を上回る状況である。
【水産業の振興】
新規就業者数は、計画を上回って増加している状況であり、ブランド魚種の漁獲量は、漁場管理や繁殖保護の取組により目標値を上回る成果をあげている。また、増殖場の造成面積は、県が事業主体で国費の額に左右されるものの、おおむね計画どおりの進捗である。
【安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実】
UIJターン就職者数については、おおいた産業人財センターの登録者のうち、大分市へ就職した人数としている。目標値については令和7年度～11年度の累計で設定しており、令和7年度については計画値には達しなかったものの、7割以上の実績を確保している。実績が計画値を下回った主な要因として、テレワークによる「転職なき移住」の増加に加え、民間の求人サイトやマッチングサービスの充実により、求職手段が多様化したことが挙げられる。
【交通体系の確立】
各指標及び主要事業については、概ね計画どおりに推移しているものの、運転手不足による供給力の低下や、人口減少等の影響により、「タクシーの乗車人員」など一部には計画を下回る実績も見られる。
【下水道の整備】
汚水処理施設の普及による公衆衛生向上と水質保全、施設整備による雨水排除対策が計画どおり進展している。幹線の耐震化による強靭化も着実に推進中である。純損失3.5億円となった経営課題に対しては、未普及対策等の増収に努めるほか、令和8年4月の使用料改定により今後は純利益が生じる見込みである。主要事業の計画的な展開と経営改善への確かな道筋が立っていることから、安全・安心な下水道サービスの提供へ向け、おおむね順調に施策を展開していると評価する。
【安全で快適な住宅の整備】
子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業、中古住宅で始める子育て新生活応援事業、住宅・木造店舗等耐震化総合支援事業（診断・改修）は、申請者の要望をほぼ満たしているものであり、おおむね順調に施策を展開した。

評　価	B	概ね順調に施策を展開している

29「商工業・サービス業の振興」における中心部商店街の空き店舗率、35「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」におけるUIJターン就職者数など10個の指標は計画値を下回ったものの、26「循環型社会の形成」におけるごみ排出量は142,492t、34「魅力ある観光の振興」における観光宿泊客数は1,302,589人となるなど4個の指標は目標値を達成している。
また、24「DXの推進」におけるDXの推進により市民サービスの向上や業務の効率化に取り組んだ業務数（累計）は47件、40「安全で快適な住宅の整備」における老朽危険空き家等に対する大分市の支援を利用して行われた除去件数（累計）は15件など22個の指標は計画値を達成するとともに、34「魅力ある観光の振興」における観光入込客数、38「水道の整備」における水道水の水質基準適合率、39「下水道の整備」における重要な幹線の耐震化率など19個の指標は、計画値の90%以上を達成していることなどから、B評価とした。

今後の施策展開

【DXの推進】
今後は、令和8年度に導入する「書かない窓口」システムを通じ、これまで以上に市民が利用しやすい窓口サービスを提供するとともに、公式LINEの機能拡張等により、情報発信体制のさらなる強化を図る。
【脱炭素社会の実現に向けた取組】
2026年2月に「脱炭素先行地域」に指定され、市内一部地域を中心として、2030年度までに民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを目指していくこととなっており、市内全域においても、第4期大分市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の長期目標である2050年温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）の達成に向け、市民・事業者・行政が連携、協力し、各種取組を推進する。
【商工業・サービス業の振興】
商店街は地域における経済活動の拠点であるほか、にぎわい・コミュニティの拠点としての機能を有しており、これらを維持・向上させるため、本市からの支援は不可欠である。中心市街地における空き店舗率の目標値を達成するために、補助制度について効果的な情報発信を行うほか、開店後のフォローアップに取り組む。
【魅力ある観光の振興】
本市の魅力である、食や高崎山自然動物園等について、観光協会等各関係機関と連携しながら、効果的な情報発信を行っていく。また、佐賀関復興の観点から、現地に関心を持って来訪してもらえるような事業も検討していく。
【交通体系の確立】
今後、交通事業者とより一層連携を図り、幹線と支線の再構築の検討を行う中で、まちづくりと一体となって、地域の実情に応じた交通施策に取り組み、地域の商業施設や医療施設等が集まる支所周辺や駅などの地域の拠点にアクセスできるデマンド型交通の実証実験を行い、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け取り組みを進める。
【下水道の整備】
「都市浸水対策達成率」については、浸水シミュレーションや市民からの通報等により浸水被害発生箇所を把握・管理し、被害状況や緊急性を踏まえて優先順位を設定のうえ、効率的かつ効果的な整備を推進する。また、「重要な幹線の耐震化率」については、令和8年度は猪野高松汚水幹線の実施を予定しており、国からの補助金を含め、今後も財源確保に努めていく。
【安全で快適な住宅の整備】
令和8年度に大分市空家等対策計画の改定を予定しており、改定に伴い地域特性に応じた空き家の有効活用や支援を検討するための調査・研究を行い、その結果を踏まえて個々の状況に応じた空き家の除却や活用に関する効果的な施策を実施する。
【公園・緑地の保全と活用】
令和5年度から着手した「都市公園ストック再編事業」を着実に進め、維持管理経費の削減を実現するとともに、多様な主体の連携による公園の利活用を図り、より柔軟かつ効率的に公園を使いこなすため、新たな管理運営の道筋を検討する。

【参考】・(緑)重点事業　・(黒)主な事業

【24 DXの推進】
・窓口スマート化事業
・生成AIを活用した業務効率化事業
【25 脱炭素社会の実現に向けた取組】
・脱炭素先行地域づくり事業
・省エネ家電購入促進事業
・宅配ボックス設置助成事業
・資源物回収処理事業
【29 商工業・サービス業の振興】
・「チャレンジ創業！」大分市創業者応援事業
・中小企業競争力強化支援事業
・新たな担い手経営開始等支援事業
【33 水産業の振興】
・漁業者事業継続支援事業／漁業活動改善促進事業
【34 魅力ある観光の振興】
・大分市工場夜景クルーズ社会実装事業
【35 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実】
・お試し移住補助金事業
・中小企業等賃金引上げ奨励事業
【36 計画的な市街地の形成】
・大分駅東22街区・54街区利活用推進事業
・末広町一丁目地区市街地再開発事業
【37 交通体系の確立】
・ふれあい交通区域運行実証事業
【38 水道の整備】
・水道料金減免等事業
【40 安全で快適な住宅の整備】
・老朽及び準老朽危険空き家等除却促進事業
・耐震改修促進事業
・佐賀関復興市営住宅建設事業
【41 公園・緑地の保全と活用】
・中心市街地都市公園整備事業

委員会意見

・郊外地域を含めた市内全域のにぎわい施策について、地域別の施策展開の方針を「今後の施策展開」欄に記載するなど、市民に分かりやすい情報発信をしてもらいたい。
・イルミネーション等のイベント事業については費用対効果や経済効果を分析するなど、限られた財源のなかで実施する根拠となるものを明確にしてほしい。
・「大分市工場夜景クルーズ社会実装事業」等の社会実験事業については、事業終了後に民間が持続可能なビジネスとして引き継げるか等の視点を持ちながら実施してもらいたい。
・大分市民意識調査について、教育委員会と連携した児童・生徒へのアンケートの実施や、商工会議所・経済同友会等を通じた民間企業へ調査協力を要請するなど、アンケート手法を工夫してもらいたい。

第3期大分市総合戦略に掲げている評価指標の達成状況

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

施策 名 称 （略称）	部局名	評 価 指 標 指 標 名	基準値 （2024年度実績）	目標値 （2029年度）	計 画 （2025年度）	実 績 （2025年度）	達成度 （※）		
こども・子育て支援の充実	福祉保健部 子どもすこやか部	保育施設利用待機児童数	0人	0人の継続	0人	0人	a	5点	目標値を達成
		乳児家庭全戸訪問事業実施率（こんにちは赤ちゃん訪問事業）	98.70% （2023年度実績）	100%	100%	98.62%	c	3点	計画値の90%以上
		子ども家庭センターへの相談件数（年間延べ）	5,712件 （2023年度実績）	増加	5,712件	5,341件	c	3点	計画値の90%以上
		育児講座の参加者数	1,491人（72回） （2023年度実績）	2,000人（80回）	76回	1,676人（78回）	b	4点	計画値を達成
		市内の男性の育児休業取得率	14.9% （2023年度実績）	増加	令和10年度に調査予定	令和10年度に調査予定	-	-	-
こどもたちの学びを支える教育環境の充実	教育部	いじめの解消率（認知から3カ月以上経過したもの）	小学校　85.1% 中学校　80.7% （2023年度実績）	小学校　90.0% 中学校　90.0%	小学校88.2% 中学校88.0%	小学校92.8% 中学校89.1%	b	4点	計画値を達成
		年間の時間外在校等時間が360時間を超える教職員の割合	51.50% （2023年度実績）	33.50%	46.0%	38.5%	b	4点	計画値を達成
社会教育の推進と生涯学習の振興	教育部	大分市民図書館等の利用者数	794,934人 （2023年度実績）	900,000人	835,000人	860,115人	b	4点	計画値を達成
		地区公民館における教室・講座等の受講者数	37,558人 （2023年度実績）	45,000人	40,000人	37,434人	c	3点	計画値の90%以上
		おおいたふれあい学びの広場推進事業（地域主体型）の実施回数	577回 （2023年度実績）	850回	810回	830回	b	4点	計画値を達成
スポーツの振興	企画部	ホームタウンチームのリーグ戦ホームゲーム入場者数	211,385人 （2023年度実績）	250,000人	210,000人	206,521人	c	3点	計画値の90%以上
個性豊かな文化・芸術の創造と発信	企画部	おおいた夢色音楽プロジェクト総来場者数	78,373人 （2023年度実績）	82,000人 （2025～2029年度平均）	78,000人	70,000人	d	2点	計画値の50%～90%
		アーティストバンク専用ウェブサイト「POART/ポート」を通じたマッチング件数	11件 （2023年度実績）	250件 （2023～2029年度累計）	90件	453件	a	5点	目標値を達成
		大友氏館跡への来訪者数	158,553人 （2020～2023年度累計）	443,000人 （2020～2029年度累計値）	40,000人	38,093人	c	3点	計画値の90%以上
国際化の推進	企画部	国際課公式SNS（Facebook・Instagram）の閲覧件数	7,957件 （2023年度実績）	9,000件 （2025～2029年度平均）	9,000件	10,799件	a	5点	目標値を達成
		国際化・多文化共生イベントへの参加者数	20,002人 （2023年度実績）	22,000人 （2025～2029年度平均）	22,000人	17,224人	d	2点	計画値の50%～90%

第3期大分市総合戦略に掲げている評価指標の達成状況

（※）≪評価指標の達成度≫ 令和7年度計画に対する達成状況に応じて「a」～「e」の5段階で評価（a／5点：十分に達成している、b／4点：計画以上で推移している、c／3点：概ね計画どおり、d／2点：計画以下で推移している、e／1点：あまり達成していない）

施策 名称（略称）	部局名	評価指標 指標名	基準値（2024年度実績）	目標値（2029年度）	計画（2025年度）	実績（2025年度）	達成度（※）		
地域コミュニティの活性化	市民部	ご近所の底力再生事業の申請率	75.59%（2023年度実績）	85.00%	85.0%	73.2%	d	2点	計画値の50%～90%
男女共同参画社会の実現	市民部	男女共同参画に関する学習会等の参加者数	1,483人（2023年度実績）	1,650人	1,537人	2,229人	a	5点	目標値を達成
高齢者福祉の充実	福祉保健部	要介護認定に要する期間	34.6日（2023年度実績）	30日以内	33.06日	32.51日	b	4点	計画値を達成
健康づくりの推進	福祉保健部	健康アプリ「おおいた歩得（あるとっく）」登録者数	－	48,000人	28,000人	17,850人	d	2点	計画値の50%～90%
		健康づくりを目的とした相談会や教室などの参加人数	16,278人（2023年度実績）	20,000人	17,000人	23,700人	a	5点	目標値を達成
地域医療体制の充実	福祉保健部	大分市地域医療情報ネットワークの登録者数	－	増加	3,000人	826人	e	1点	計画値の50%未満
		救急医療電話相談（＃7119）相談件数	－	10,000件	10,000人	10,578人	a	5点	目標値を達成
DXの推進	企画部	大分市公式アプリダウンロード件数（累計）	52,187件（2023年度実績）	100,000件	68,000件	67,673件	c	3点	計画値の90%以上
脱炭素社会の実現に向けた取組	環境部	再生可能エネルギーの導入量	1,869TJ（2020年度）	2,735TJ	2,061TJ（2022年度計画）	2,480TJ（2022年度実績）	b	4点	計画値を達成
豊かな自然の保全	環境部	身近な自然観察会参加者数	105（実績値）人	120人	120人	41人	e	1点	計画値の50%未満
商工業・サービス業の振興	商工労働観光部	市内創業支援機関等の支援による創業件数	223件（2023年度実績）	200件	200件	224件	a	5点	目標値を達成
		中小企業者の経営力強化支援件数	194件（2023年度実績）	200件	200件	186件	c	3点	計画値の90%以上
		販路拡大支援件数（国内外）	107件（2023年度実績）	110件	30件	41件	b	4点	計画値を達成
流通拠点の充実	農林水産部	公設地方卸売市場における取扱金額（青果部）	145億円（2023年度実績）	149億円	153億円	148億円	c	3点	計画値の90%以上
		公設地方卸売市場における取扱金額（水産物部）	74億円（2023年度実績）	77億円	74億円	73億円	c	3点	計画値の90%以上
交通体系の確立	都市計画部	ふれあい交通利用者数	10,249人/年（2023年度実績）	10,500人/年	10,332人	9,389人	c	3点	計画値の90%以上

指定管理者制度導入施設評価について

■　指定管理者制度導入施設評価の概要

1　評価の流れ

6月　　施設所管課より内部評価（評価シート）の提出

7月～8月　　指定管理者評価部会による現地視察（6段階評価を実施した施設）、施設所管課に対するヒアリングを実施

10月28日　　指定管理者評価部会意見を行政評価・行政改革推進委員会に報告

【指定管理者評価部会】　（任期：令和5年8月9日～令和9年3月31日）

氏名		役職等	備考
部会長	石井　公二郎	中小企業診断士	行政評価・行政改革推進委員会委員
部会員	荒金　拓郎	社会保険労務士	
部会員	秋庭　淳志	大分県立文化芸術短期大学　准教授	
部会員	林　勇貴	大分大学 経済学部 准教授	

2　評価手法

指定期間の経過年数に応じた評価手法を用い、自己評価と外部評価の２段階評価を実施

種　類		実施時期	評価の方法	指定管理者評価部会
６段階評価	４年目評価	指定期間の４年度目	採点を行い、S～Eの6段階で評価する	・現地視察 ・施設所管課へのヒアリング
	２年目評価	指定期間の２年度目		
年次評価（所見評価）		上記以外の年度	所見を記した文章により評価する	・施設所管課へのヒアリング

◆６段階評価の仕組みについて

①指定管理者の管理運営の実績を基に評価項目毎に採点を行う

評価の視点	評価項目	配点
1　施設の設置目的の達成に関する取組(有効性)	(1)施設の設置目的の達成	30
	(2)利用者の満足度	20
2　効率性の向上等に関する取組(効率性)	(1) 管理運営の効率性	15
3　公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組(適正性)	(1) 適正な管理運営	30
	(2)地域貢献	5
	計	100

②得点合計から評価ランクを決定

評価ランク	得点合計	評価
S	90点以上	特に優れている
A	80点～89点	優れている
B	70点～79点	やや優れている

評価ランク	得点合計	評価
C	60点～69点	適正である
D	50点～59点	努力が必要である
E	0点～49点	かなりの努力が必要である

■　令和８年度指定管理者制度の導入施設一覧（全12施設）

施　設　名	指定管理者制度導入年月日	指定後経過年数（年度）	所管課	利用料金制	指 定 管 理 者 名	総合評価結果（６段階評価結果）
大分市丹生温泉	H17.4.1	21年	福祉保健課	○	（社福）大分市福祉会	B（７０．２点）
大分市多世代交流プラザ	H18.4.1	20年	福祉保健課		（社福）大分市社会福祉協議会	C（５２．３点）
平和市民公園能楽堂	H19.4.1	19年	文化振興課	○	平和市民公園能楽堂共同事業体	
大分市宇曽山荘	H19.4.1	19年	文化振興課	○	特定非営利活動法人　七瀬の里Nクラブ	
アートプラザ	H19.4.1	19年	美術振興課	○	アートプラザ共同事業体	
大分市営温水プール	H19.4.1	19年	スポーツ振興課	○	日本水泳振興会・東急コミュニティー共同事業体	
大分市営陸上競技場並びに津留運動公園自由広場及びテニスコート	H20.4.1	18年	スポーツ振興課	○	大分リバースタジアム共同事業体	
コンパルホール	H23.7.20	15年	文化振興課	○	コンパルホール共同事業体	
市営住宅（一部）	H23.4.1	15年	住宅課		大分県住宅供給公社	
大分市関崎海星館	H23.4.1	15年	社会教育課	○	大分エージェンシー(株)	B（７４．５点）
ホルトホール大分	H25.7.20	13年	文化振興課	○	ホルトホール大分みらい共同事業体	B（７９．５点）
市営住宅（一部）	H26.4.1	12年	住宅課		（株）別大興産	
大分市大洲総合体育館	R2.4.1	6年	スポーツ振興課	○	ファビルス・プランニング大分共同事業体	B（７３．４点）

…６段階評価及び現地視察の実施施設

令和8年度指定管理者評価部会 総括意見

全体意見		
	①	施設の老朽化や市民ニーズ、コストバランスなどを踏まえ、「今後の施設の在り方」について根本的な検討を進めるとともに、「公共サービスの質の向上」と「行政運営の効率化」を両立させるために、指定管理者による適切な運営と施設所管課による適切な成果管理を通じ改善促進を行う協働関係の構築に取り組まれたい。
施設の設置目的の達成に関する意見 【有効性】		
	②	アンケート内容の充実や詳細分析、利用者への聞き取り調査等を踏まえ、利用者の満足度向上に向けた具体的かつ効果的な取組を検討・指導されたい。また、大学や民間企業、他の公共施設との連携に加え、若者が利用しやすい環境の整備など、施設の稼働率向上に向けた多角的な工夫を講じられたい。
	③	施設の設置目的を再確認し、目的に沿う運営に向け指導するとともに、指定管理者の努力や成果が認められる場合はそれを適正に反映した総合的な評価を検討されたい。
効率性の向上等に関する意見 【効率性】		
	④	指定管理者から提出された事業計画書および事業報告書については計数面を厳正にチェックし、必要に応じて詳細データの提出を要請するなど運営状況を適切に把握されたい。
	⑤	効率性向上にむけ費用対効果を踏まえたメリハリのある投資ができるよう、計画実施状況を管理しつつ積極的に指導されたい。
適正な管理運営に関する意見 【適正性】		
	⑥	指定管理者における労務管理や法令遵守が適切に行われているか確認されたい。特に、10月からカスタマーハラスメント対策が法律で義務付けられたことに伴い、現在の組織体制や対応方針等の整備状況について確認されたい。
	⑦	令和8年熊本地震を契機として、災害時等における組織体制の明確化や、緊急時のマニュアル整備・更新、避難訓練の継続的な実施など、今一度緊急時の対応を確認するとともに、指定管理者の平時からの意識向上に向けて適切に指導されたい。

6段階評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	福祉保健課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**大分市丹生温泉施設**
	所在地	大分市大字丹生１１８９番地
	設置目的	市民の健康の保持及び増進を図るとともに地域の活性化に寄与するため
	施設の建築年（又は事業開始）	平成17年
指定管理者	名称	社会福祉法人　大分市福祉会
	代表者名	理事長　野尻　政文
	所在地	大分市大字松岡3743番地
指定管理業務の内容		①管理施設の利用に関する業務 ②管理施設の利用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理施設の維持管理に関する業務
料金体系		【12歳以上】　1回３４０円（１１枚綴り回数券３，４００円） 【6歳以上12歳未満】　1回１６０円（１１舞綴り回数券１，６００円） 【6歳未満】　1回　８０円（１１枚綴り回数券８００）

利用料金制	導入済	選定方法	公募
指定期間	令和５年 ４月１日～令和１０年 ３月 ３１日 （ ５年間）	導入年度	平成17年度

利用者数 （単位：人）				R7年度目標④	46,627	達成率 ①／④	110%
１７年度② （直営時又は制度導入1年目）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度③	Ｒ７年度①	○○年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
39,169	33,377	38,513	37,097	46,160	51,341	12,172	5,181

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費（ｂ）	前指定期間 最終年度４年（ｃ）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 （ａ）－（ｂ）	前指定期間比較 （ａ）－（ｃ）
4166	5216	5216	5000	5000	5000	834	▲ 216

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	52%	29%		7	12

2. 評価結果

評価項目／【配点】	特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】					
1　事業計画の達成度　／　【配点３０点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（１０点）	10	8	(5)	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（１２点）	(12)	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（５点）	(5)	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（３点）	(3)	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 利用者数【目標】R5：43,250人、R6：43,750人、R7：46,627人 利用者数【実績】R5：37,097人、R6：46,160人、R7:51,341人 令和２年度から新型コロナの影響により、利用者数は減少したが、徐々に回復し、令和６年度からは年度目標達成し、令和７年度には過去最高の利用人数を達成している。 また、自主事業についても、計画通り実施された。					
2　利用者の満足度　／　【配点２０点】					
利用者の満足度が得られているか。（１０点）	10	(8)	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 利用者アンケート結果 【施設の使いやすさ】 R5年度　満足　51.8%　やや満足　22.6%　R6年度　満足59.8%　やや満足　25%　R7年度　満足　52%　やや満足　29% 【職員の対応】 R5年度　満足　52.8%　やや満足　23.5%　R6年度　満足　71.1%　やや満足　16.4%　R7年度　満足　69%　やや満足　16%					

効率性の向上等に関する取組【効率性】					
1　管理運営の効率性　／　【配点１５点】					
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
収入増加のための取組はされているか。（５点）	5	(4)	2.5	1	0
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 利用料収入の推移　R5年度：10,770千円　R6年度：13,539千円　R7年度：16,196千円 支出の推移　R5年度：17,011千円　R6年度：19,852千円　R7年度：20,203千円 温泉施設の清掃業務を大分市福祉会が運営する福祉工場が行うことで経費削減に努めている。					
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】					
1　適正な管理運営　／　【配点３０点】					
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（４点）	(4)	3.2	2	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（４点）	4	(3.2)	2	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（４点）	4	3.2	(2)	0.8	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○利用者サービスに影響しない体制を整えている他、障がい者の活躍の場にもなっている。。 ○人権研修、AEDの研修、キャリアアップ研修等実施し、正職員及び臨時職員のスキルアップを図っている。 ○条例等に基づき、施設の平等な利用について適切対応している。 ○毎月のモニタリングで収支を確認しており、適正な財務体制を維持している。 ○施設・設備等の法定点検及び保守は、毎月のモニタリングで確認しており、適正に行われている。 ○書類、備品の管理は適切に行われている。 ○安全管理マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を実施している。 ○備品の保守点検は適切に行われている。 ○設備等の点検は毎日行っており、適切に対応している。 ○法令の遵守に配慮しており、業務の再委託や事業計画の変更等についても市の承認を得てから実施している。					
2　地域貢献　／　【配点５点】					
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（５点）	(5)	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○市内からの雇用を積極的に進めており、地域の雇用創出に寄与している。 ○障がい者雇用に積極的に努め、障がい者の活躍の場にもなっている。 ○佐賀関大規模火災の際、被災者に無料で入浴できるよう手配するなど災害の際の被災者救援にも貢献している。					

【総合評価】

合計得点（100点満点）	70.2	評価ランク（S～E）	B

【評価の理由】　※管理運営に対する指摘事項等を記入

利用者数については、令和６年、令和７年利用者数の目標を達成しており、令和７年度については過去最高の利用者数となっている。
アンケート調査の結果にも記載されている満足度の高さや、市民感謝デーの開催、敬老の日のイベント等取り組みなどの利用者増加の取り組みを続けていることなどが、利用者増加につながっている。
また、佐賀関大規模火災の際には、被災者に無料で入浴できるよう、迅速に対応するなど、災害の際の被災者救援にも貢献している。

【今後の対応】　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

施設設置から20年を迎える中、老朽化による不具合も発生しているため、施設の維持管理に必要不可欠な設備については、計画的に更新を行っていく必要がある。
今後とも適正な管理運営を継続した上で、リピーターの確保及び新たな利用者の獲得など、利用者数増加に努めていく。
近隣地域へ潜在的なニーズ等を把握するため、近隣地域に無作為でアンケートを行った。今後結果をもとに施策検討を行う。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①当該施設は設置後20年を経過し、今後修繕等が予想される状況。今後の施設運営をどのように行っていくか、中長期的なビジョンを持って運営されたい。 ②アンケートの調査については、既利用者からの回答について十分に精査を行うとともに、非利用者に対するアンケートを実施することで、より有効なアンケートとなるよう内容等の充実について検討されたい。	①建築から20年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。今後、施設の維持管理に必要不可欠な設備について、中長期的な施設修繕計画を検討していく。 ②坂ノ市地区、大在地区、鶴崎地区にランダムでアンケート調査を行った。アンケート結果を今後の運営に反映していく。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①施設の設置目的や、経緯、今後の維持コスト等を踏まえ、施設の在り方を検討するとともに、指定管理を継続する場合は適切な指定期間についても検討されたい。
②利用者の増加に伴う職員の負担増が懸念される。業務量等を十分に精査し、適切な労務管理が行われるよう指導されたい。特に、障がいのある従業員を支援する職員に過度な業務負担が生じていないか注視されたい。
③再利用に至らなかった要因の分析や、温泉施設で重視される「清潔感」の評価を把握できる項目を設けるなど、アンケートの手法・分析を工夫されたい。

6段階評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	福祉保健課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	社会福祉施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**大分市多世代交流プラザ**
	所在地	大分市大字野津原８００番地
	設置目的	世代間の交流及び高齢者等の健康の増進を図るとともに福祉に関する市民の自主的な活動を促進することにより、市民の福祉の向上に寄与するため
	施設の建築年（又は事業開始）	平成１２年
指定管理者	名称	社会福祉法人大分市社会福祉協議会
	代表者名	会長　江藤　郁
	所在地	大分市金池南一丁目5番1号　J：COMホルトホール大分4階
指定管理業務の内容		①管理施設の利用に関する業務 ②福祉に関する各種相談、援助及び指導に関する業務 ③教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ④健康増進に関する業務 ⑤管理施設の維持管理に関する業務
料金体系		―

利用料金制	未導入	選定方法	任意指定
指定期間	令和５年４月１日～令和１０年　３月３１日　（　５年間）	導入年度	平成１８年度

利用者数　（単位：人）				R7年度 目標④	7,000	達成率 ①／④	53%
１８年度② （直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	○○年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
8,885	2,701	4,010	4,653	4,277	3,701	▲ 5,184	▲ 576

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費(ｂ)	前指定期間 最終年度令和４年(ｃ)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 (ａ) － (ｂ)	前指定期間比較 (ａ) － (ｃ)
6574	5262	5274	5300	5300	5300	▲ 1274	38

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	71.4%	12.1%		2	3

2. 評価結果

評価項目／【配点】	評価 特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】					
1　事業計画の達成度　／　【配点３０点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（１０点）	10	8	(5)	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（１２点）	12	9.6	6	(2.4)	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（５点）	5	(4)	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（３点）	3	(2.4)	1.5	0.6	0
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 利用者数【目標】R5：7000人、R6：7000人、R7：7000人 利用者数【実績】R5：4653人、R6：4277人、R7:3701人 自主事業は、多くの世代を対象としており、全体的に満足度が高い。特に親子クッキング教室などは、満足度が高く、リピーターも多い。 しかしながら、施設利用の新規利用者が少ないことに加え、団体利用が減少していることから、利用者は全体的に減少傾向である。					
2　利用者の満足度　／　【配点２０点】					
利用者の満足度が得られているか。（１０点）	10	(8)	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 【施設の使いやすさ】 R5年度　満足 71.3% やや満足 12.6% R6年度　満足76.3% やや満足 11.5% R7年度　満足 71.4% やや満足 12.1%） 【職員の対応】 R5年度　満足 82.5% やや満足 5.8% R6年度　満足 84.4% やや満足 7.5% R7年度　満足 82.7% やや満足 5.7%） 利用者アンケートの結果、施設の使いやすさや職員の対応について、利用者からおおむね満足が得られている。					

効率性の向上等に関する取組【効率性】					
1　管理運営の効率性　／　【配点１５点】					
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
収入増加のための取組はされているか。（５点）	5	4	(2.5)	1	0
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 事業収入の推移　　R5年度：97,000円　R6年度：95,900円 R7年度：97,200円） 事業費支出の推移　R5年度：1,376千円　R6年度：1,641千円 R7年度：1,554千円 施設の利用は無料であるが、自主事業実施時に参加者から参加料を徴収している。 令和５年度よりスカットボールを再開したことにより、収入が増加している。					

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】					
1　適正な管理運営　／　【配点３０点】					
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（４点）	4	3.2	(2)	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（４点）	4	3.2	(2)	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（３点）	3	2.4	(1.5)	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（４点）	4	3.2	(2)	0.8	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○正規職員と臨時職員を事業計画書に基づき配置し、利用者サービスに影響しない体制を整えている。 ○人権研修や、接遇研修等を実施し、正職員及び臨時職員のスキルアップを図っている。 ○条例等に基づき、施設の平等な利用について適切対応している。 ○毎月のモニタリングで収支を確認しており、適正な財務体制を維持している。 ○施設・設備等の法定点検及び保守は、毎月のモニタリングで確認しており、適正に行われている。 ○書類、備品の管理は適切に行われている。 ○安全管理マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を実施すしている。 ○備品の保守点検は適切に行われている。 ○設備等の点検は毎日行っており、適切に対応している。 ○法令の遵守に配慮しており、業務の再委託や事業計画の変更等についても市の承認を得てから実施している。					
2　地域貢献　／　【配点５点】					
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（５点）	5	(4)	2.5	1	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 消耗品等の調達について、地元業者を優先的に選定、夜間業務についても大分市シルバー人材センターに委託するなど地域貢献に努めている。					

【総合評価】

合計得点（100点満点）	52.3	評価ランク（S～E）	C

【評価の理由】　※管理運営に対する指摘事項等を記入

自主事業や、施設としての満足度は高いものの、利用団体が減少しているため、全体的に利用者数がが減少している。

【今後の対応】　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

自主事業については、満足度も高いため、今後も新規の利用者や、リピーターを獲得できるよう継続していく。しかしながら、利用者の増加については新規利用者の確保も重要であることから、広報等を図ることで利用者の増加を図る。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①利用者がコロナ前までに回復していない状況を踏まえ、施設の目的を再確認のうえ、利用者増に向けた施策を実施されたい。 ②アンケートの調査については、既利用者からの回答について十分に精査を行うとともに、非利用者に対するアンケートを実施することで、より有効なアンケートとなるよう内容等の充実について検討されたい。 ③市有資産活用という観点からも、組織横断的に将来的な活用方法の検討をされたい	多世代交流プラザについては、野津原市民センター複合化改修事業に伴い、スペース等の貸し出し業務を行う貸館機能が公民館機能と重複していることから、今後は、その機能を公民館へ集約し、令和９年９月頃を目途に廃止とする方向で検討している。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①職員3名という少人数での体制のため、引き続き勤務状況について注視されたい。
②利用者数の推移について、施設の機能ごとに把握されたい。
③実施したアンケート結果は他の施設でも参考になると思うので、庁内で共有されたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**平和市民公園能楽堂**
	所在地	大分市牧緑町1番30号
	設置目的	能楽、邦楽その他の伝統的芸能文化の振興を図り、市民文化の向上に資する
	施設の建築年（又は事業開始）	平成元年度
指定管理者	名称	平和市民公園能楽堂共同事業体
	代表者名	代表構成員　株式会社　テイクファイブ　代表取締役　白石　成裕
	所在地	大分市王子中町10番22号
指定管理業務の内容		①指定管理の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④利用促進及び文化の振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務
料金体系		有料公演　75,380円～100,760円（平日）・90,600円～121,280円（土日） 無料公演　37,690円～50,380円(平日）・45,300円～60,640円（土日） ロビーのみ　4,440 円～5,930円（平日）・5,240円～7,060円（土日）

利用料金制	導入済	選定方法	公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（5年間）	導入年度	平成19年度

利用者数　（単位：人）				R7年度 目標④	33,000	達成率 ①／④	102%
１８年度② （直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	18年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
23,501	16,553	31,673	32,530	32,830	33,730	10,229	900

管理運営経費の削減額（直営時比較･前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費(ｂ)	前指定期間 最終年度R5年(ｃ)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 (ａ) － (ｂ)	前指定期間比較 (ａ) － (ｃ)
47089	51670	51670	51670	54916	54916	7827	3246

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	83	7		7	10（常勤のみ）

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。
目標指数①　年間利用者数【指定管理者目標(R7)33,000人、実績(R7)33,730人（R6)32,830人（R5)32,530人 ※（参考）（R4)31,673人(R3)16,553人（R2)13,026人】
目標指数②　年間利用件数【市設定指標：　－　、指定管理者目標(R7)420件、実績（R7)323件（R6)355件（R5)388件】
目標指数③　主催する事業の年間実施件数【市設定指標：25回、指定管理者目標(R7)26回 実績(R7)27回（R6)31回（R5)25回】
　目標指数について、令和7年度は年間利用者数の目標値を達成することができた。また、令和7年度の「主催する事業の年間実施件数」の実績は27回　（目標指標26回）で、目標指標および事業計画目標値を上回っている。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。
イベント参加者へのアンケートによる満足度（満足、やや満足）は令和5年度は約97%（満足90.6%、やや満足6.8%）、R6年度は92%（満足85.1%、やや満足7.0%）で、R7年度は90%（満足83.3%、やや満足6.9%）継続して高い満足度を得られている。
　また、貸館利用者を対象とした利用者アンケートについては、満足度100%となっており、アンケートを開始した令和3年度以降、満足度100%を継続している。

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】
※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。
R7年度は支出予算は66,916,000円に対し、支出決算64,461,488円であった。
（※R6年度：支出予算66,464千円、支出決算63,904,815円　R5年度：支出予算77,321千円、支出決算65,591千円）
収支全体では黒字経営を保っている。
R7年度は収入予算は66,916,000円に対し、収入決算66,921,444円であった。
利用料収入　　R7:6,647千円（※R6:5,665千円　R5:4,849千円）
自主事業収入　R7:5,363千円（※R6:5,184千円　R5:4,170千円）
補助金収入　　R7:2,900千円（※R6:　800千円　R5:6,036千円）
全体の収入が増となっているのは、補助金収入が増加した事が要因である。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。
法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得て実施している。
個人情報保護のための対策は適切であり、市民の公平かつ平等な利用も確保されている。
収支の内容に不適切な点はない。
安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、運用している。
施設の修繕や事故防止などの安全対策について、所管課との連携を密にしながら適切な対応がとられている。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。
事業計画等に基づき、概ね適切な人員配置や勤務体制をとっている。
従業者への教育・研修は適切に行われている。
地域と共催で事業を行ったり、小学生から高校生を対象に能楽鑑賞会を行うなど、地域との協働を図っている。

【総合評価】

【所見】　　※管理運営に対する指摘事項等を記入

市との相談や協議を密に行い、適切に管理運営を行っている。能楽をはじめとした伝統的芸能文化の利用者獲得を主軸に、利用者が固定化・高齢化しつつある現状を受け、若年層を対象とした体験型ワークショップや、クラシック等能楽以外の公演も幅広く実施し、市民が広く伝統的芸能文化に触れる機会や施設を認知してもらうためのきっかけを多く生み出している。

【今後の対応】　　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

引き続き若年層やファミリー層など幅広い世代を対象とした事業を継続し、新規リピーターを創出することで、より多くの方が能楽や伝統文化に興味を持つきっかけを提供していく。なお、施設の経年劣化が進んでいるため、能舞台の保守・保全はもとより、施設機能の低下が予測できる箇所を市と指定管理者で連携しながら計画的に修繕改修していく。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①集客を通じて文化の振興・発展に繋げるよう、指定管理者に対し利用者の属性の報告指導を行うとともに、担当課においても協同してその内容を分析・検討されたい。 ②より様々な文化振興事業を行えるようにするためにも、より収益化を図るよう指導されたい。	①アンケートにより利用者属性の把握に努めており、引き続き指定管理者とともに内容を分析・検討していく。 ②自主事業としてオリジナルグッズ販売を行っており、今後もより収益化を図れるような取り組みを検討していく。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①映画「国宝」の話題性で判明した古典芸能への関心や大友宗麟と能楽の歴史的つながり、メディア・大学・他施設との連携、新規来館者の動機や認知媒体の分析等を通じ、能楽の魅力をさらにアピールし本来の利用へシフトするよう事業者とともに検討されたい。
②職員１０名にて研修も積極的に取り組んでいる様子だが、有給休暇の取得率や時間外労働の時間数など、労務管理上の目標を立てるよう指導・検討されたい。
③収支改善に向け、見学者増加に伴う見学料やグッズ販売の収入確保、こども能楽教室の保護者分を含めた適正な料金設定について指導・検討されたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**大分市宇曽山荘**
	所在地	大分市大字入蔵６３５－１
	設置目的	豊かな自然環境を生かし、人や文化の交流の場を提供することにより、市民の心身の活力の向上に寄与するため
	施設の建築年（又は事業開始	平成２年度
指定管理者	名称	特定非営利活動法人　七瀬の里Nクラブ
	代表者名	理事長　森　慎一郎
	所在地	大分市大字野津原３９７番地
指定管理業務の内容		①大分市宇曽山荘の使用許可に関する業務 ②大分市宇曽山荘の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③大分市宇曽山荘の施設及び設備の維持管理に関する業務 ④大分市宇曽山荘の利用促進及び文市民の心身の活力の向上を図る業務 ⑤その他大分市宇曽山荘の管理に関して市長等が必要と認める業務
料金体系		【研修室】1時間　660円（2分の1利用は330円） 【ホール】1時間　1,540円（2分の1利用は770円） 【特別室・和室・洋室】一般：1時間280円　小中高生：1時間140円 【特別室宿泊】　一般：（1名利用）一泊4,500円、（2名以上利用）一泊4,200円 小中高生：一泊2,270円 【和室及び洋室宿泊】　一般：（1名利用）一泊4,200円、（2名以上利用）一泊4,000円 小中高生：一泊2,270円 【テニスコート】1面1時間　一般：440円　小中高生：220円 【照明施設】　1面1時間　一般：440円　小中高生：220円

利用料金制	導入済	選定方法		公募
指定期間	令和4年4月1日～　令和9年3月31日　（5年間）		導入年度	平成19年度

利用者数　（単位：人）				R7年度目標④	31,670	達成率①／④	110%
18年度②（直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	R7年度比①－②	R6年度比①－③
14,444	25,857	30,693	29,669	32,363	34,715	20,271	2,352

管理運営経費の削減額（直営時比較･前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費(ｂ)	前指定期間 最終年度R3年(ｃ)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 (ａ) － (ｂ)	前指定期間比較 (ａ) － (ｃ)
10,258	7,480	7,323	7,380	7,380	7,380	▲ 2878	▲ 100

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	73	10		8	32

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
①令和7年度テニスコート利用者数（目標）26,800人（令和5年度22,000人、令和6年度24,700人）
　令和7年度テニスコート利用者数（実績）27,957人（令和5年度24,699人、令和6年度26,419人）
②令和7年度山荘利用者数（目標）5,670人（令和5年度6,500人、令和6年度4,500人）
　令和7年度山荘利用者数（実績）7,626人（令和5年度5,775人、令和6年度6,767人）
目標指数について、山荘・テニスコートともに利用者数の目標値に達しており、全体の利用者数はR6年度よりも2,352人増となった。これは、チラシ配布などの広報活動に力を入れたことが要因だと考えられる。また、テニスコートの利用者数はR6年度にテニスコートの改修が完了したことで、昨年度より1,538人増となった。今後とも、利用者からの意見や要望等の把握に努め、利用者の拡大につなげていきたい。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
予約のしやすさ、開館日・時間、使いやすさ、料金、食事、職員の対応の6項目の満足度を調査した結果、全体に占める満足度がR6年度は80%（満足67.9%、やや満足11.7%）、R7年度は83%（満足73.1%、やや満足9.9%）となり、R6年度と比べて数値はほぼ横ばいだが、サンプル数については、R6年度の184件からR7年度は225件と増加し、利用者の要望等をより把握するよう努めたといえる。
利用者からの意見や要望についても適切に整理し、改善できる部分は早急に対応を行っている。

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】

支出の推移はR5年度33,979千円、R6年度35,652千円、R7年度39,217千円となっている。
年々増大しているが、山荘部分の利用者が増加したことによる人件費及び委託料の増が主な要因であると考えられる。
収支の推移は、R5年度△305千円、R6年度103千円、R7年度30千円となっている。
山荘利用者が増加する中でも光熱水費等は昨年度より削減できており、経費削減に努めている。
収入増加の取り組みとして、チラシ配布などの広告媒体を積極的に用いたことが、利用者数増加につながった。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】

事業計画等に基づき適切な人員配置や勤務体制をとっている。
従業者研修は、接遇研修や人権研修、安全管理の研修等に加え、カスタマーハラスメント対応研修など、時事に応じて実施している。
法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得て実施している。
個人情報保護のための対策は適切であり、市民の公平かつ平等な利用も確保されている。
収支の内容に不適切な点はない。
安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、運用している。
施設の修繕や事故防止などの安全対策について、所管課との連携を密にしながら適切な対応がとられている。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】

地元雇用率は90%を超えており、資材調達も市内で行っている。

【総合評価】

【所見】　※管理運営に対する指摘事項等を記入

R7年度については、R6年度と比較してテニスコート、山荘部分のどちらも利用者数が増加した。
広報活動を積極的に実施したことで、利用者数が伸びている。

【今後の対応】　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

テニス利用者が増えるよう、アンケート等により要望等を把握していきたい。山荘部分についても、引き続き広報活動を継続していき、リピーターの獲得や、新規利用者を増やしていく。また、施設の経年劣化が進んでおり、市と指定管理者で連携しながら施設機能の低下が予測できる箇所を計画的に修繕改修していく必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①大分市民の利用率が３０％程度であることを踏まえ、利用者属性の調査を継続してデータの蓄積及び分析を行い、より地域に貢献するよう事業を行われたい。 ②当該施設はより収益化を図ることが可能だと考えられる。検討を行うよう指導されたい。 ③高齢労働者の健康管理状況についてしっかりと把握されたい。	①案内チラシを地域のふれあいサロンや近隣の小学校に配布を行い、情報発信により力を入れている。また、大分市民を対象とした「おおいた市民割」を導入し、宿泊代の割引を実施し、地域に還元できるよう料金設定をしている。 ②収益化を図り、サマーキャンプや利用者からの要望もあったバーベキューの事業を開始した。また、県外からの利用客が年々増加しているため、引き続き広報活動に力を入れている。 ③労務管理については、適正に管理されていることを指定管理者へ確認した。今後も、労務管理状況をしっかりと把握していきたい。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①従業員の総労働時間の正確な把握、外部委託料の適正把握、部門別収支の確認などを通じ、適正なコスト管理を行うよう指導されたい。
②年間指定管理料と別途の設備投資を行うことで施設を維持しているが、市外利用者が市内利用者を上回っている現状や民間での代替が容易な飲食機能と代替が困難なテニスコートの特性を踏まえ、どこまで市が保有（運営継続）すべき施設なのか検証されたい。
③従業員の高齢化に伴う就業環境の配慮や法改正への適切な対応を図られたい。また、調理の直営化に伴い厨房の衛生管理を徹底し、市から指定管理者への指導内容は随時記録されたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	美術振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月3日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	アートプラザ
	所在地	大分市荷揚町3番31号
	設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図り、もって市民文化の向上に資すること。
	施設の建築年（又は事業開始	昭和41年度
指定管理者	名称	アートプラザ共同事業体（㈱コンベンションリンケージ、㈱メンテナンス）
	代表者名	代表構成員　株式会社コンベンションリンケージ　代表取締役　平位　博昭
	所在地	大分市府内町1丁目3番18号　ボラリス府内
指定管理業務の内容		①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④その他指定管理に付随する業務
料金体系		入館料：無料 貸館料：市民ギャラリーＡ：5,500円/日、市民ギャラリーＢ：2,350円/日、アートホール：9,950円/日・1,200円/時間、研修室：720円/時間、実技室：220円/時間 1.利用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその利用時間が1時間未満のときは1時間とする。 2.冷暖房期間中は、上記により算定した利用料の4割に相当する額（その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）を加算する。

利用料金制	導入済	選定方法	公募
指定期間	令和 6年 4月 1日～令和 9年 3月 31日　（3年間）	導入年度	平成19年度

利用者数　（単位：人）				R７年度 目標④		達成率 ①／④	
18年度② （直営時）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	18年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
138,162	78,624	105,623	113,410	114,435	106,082	▲ 32,080	▲ 8,353

管理運営経費の削減額（直営時比較･前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費(ｂ)	前指定期間 最終年度R5年(ｃ)	R４年度	R５年度	R６年度	R７年度(a)	直営時(初年度)比較 (ａ) － (ｂ)	前指定期間比較 (ａ) － (ｃ)
79,413	76,100	75,949	76,100	83,250	87,000	7587	10900

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和７年度
	80	11		10人（直営時）	23人

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。
【実績】
利用料金収入：(R4)3,863千円、(R5)4,159千円、(R6)3,535千円、(R7)3,600千円
自主事業収入：(R4)1,706千円、(R5)　826千円、(R6)　690千円、(R7)　870千円
〇令和7年度の利用者数は106,082人となり、目標180,000人に対して59%の達成にとどまった。R6年度比では8,353人減少し、依然としてコロナ禍以前の水準には戻っていない。
〇利用料金収入は前年度から約65千円増加し、一定の回復傾向が見られた。自主事業収入もR6年度から約18万円増加している。
〇ホームページ、機関誌、SNS、新聞など多様な媒体を活用した広報を継続し、施設の認知度向上とイベント参加促進に努めた。
〇貸館業務では市民の作品展示を積極的に受け入れ、自主企画事業では地元若手アーティストの発表機会を提供するなど、、施設の設置目的に沿った事業を実施できている。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。
【実績】
自主企画事業開催件数：(R1)49件、(R2)37件、(R3)48件、(R4)55件、(R5)51件、(R6)64件、(R7)68件
〇自主企画事業は68件と過去最多となり、文化芸術分野を中心に多様な事業を展開したことで、利用者からの満足度は高い水準を維持している。
〇防災訓練や介助研修等、教育指導を徹底しており、施設利用者およびイベント主催者への対応は良好である。
〇アンケートやセルフモニタリングに加え、直接寄せられる意見・苦情にも迅速に対応しており、利用者の声を踏まえた改善が適切に行われている。

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】
※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。

【実績】
〇再委託は適切に実施されており、業務効率化に寄与している。
〇電力会社の見直しにより、昨年度より約200万円弱の光熱水費の削減が達成できている。
〇利用料金収入・自主事業収入の増加に向けた取組を継続しており、令和7年度は前年度比で収入が増加した点は評価できる。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。

【実績】
〇適正な人員配置が維持されており、管理体制は良好である。
〇接遇研修、防災訓練、人権・同和問題研修などを積極的に実施し、利用者に寄り添った対応が行われている。
〇関連法令の遵守、個人情報保護対策は適切に行われている。
〇苦情やトラブルは少なく、公正な応対が行われている。また、市民からの意見を受け止め、改善可能な点は対応している。
〇月次モニタリングにおける収支確認では、会計処理が適切に行われていることが確認されている。
〇施設の老朽化が進む中でも、必要な修繕を適宜実施し、利用者の安全確保に努めている。
〇市の新指針に基づく管理に加え、独自の緊急時対応マニュアルを整備し、**年2回**の防災訓練により即応体制を確保している。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。

〇勤務スタッフの地元雇用を継続しており、地域経済への貢献が見られる。
〇大分県建築士会大分支部事務所など関連施設との連携を進め、地域文化の活性化に寄与している。
〇建築キッズボランティアガイドの育成や、大分県立芸術文化短期大学のインターンシップ学の受け入れなど、次世代育成を含む地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

【総合評価】

【所見】　　※管理運営に対する指摘事項等を記入

令和7年度は、利用者数が前年度比で減少し、依然としてコロナ禍以前の水準には戻っていないものの、利用料金収入・自主事業収入は増加し、事業の回復傾向が見られた。
また、過去最多となる自主企画事業を実施するなど、芸術文化の発信拠点としての役割を果たしている。
施設の老朽化が進む中でも、適切な修繕と安全対策を行い、利用者の安全確保に努めている点が評価できる。

【今後の対応】　　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

今後も引き続き、中心市街地における芸術文化の発信拠点として、地域住民・学校・関連施設などとの連携を深め、市内外への情報発信を強化することで、新たな利用者層の獲得が期待される。
また、施設の老朽化に伴い修繕箇所の増加が見込まれるため、指定管理者においては定期的な点検とメンテナンスを実施し、所管課と連携しながら予防保全に努めることが求められる。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
① インバウンドの増加理由を分析し、より適切な情報発信を行われたい。 ② 芸術文化の振興には、「見る場所」「学ぶ場所」「体験する場所」「発信する場所」などいくつかのセグメントがある。施設におけるセグメントを体系化し、各セグメントにおける成果を把握されたい。 ③ 大分市美術館等との更なる連携の強化について検討されたい。	①来館者のアンケートの項目を充実させ、情報源を探り、効果的な情報発信に努めている。 ②来館者のアンケート項目を充実させるなど現状の把握に努め、より良い事業展開を図っている。 ③市美の特別展などのイベントの情報を提供し、協働できる環境づくりに努めている。また、アートプラザ内のショップと大分市アーティストバンク「ＰＯＡＲＴ」の連携を図り、多様性に富んだ商品を取り揃えるよう努めている。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①施設の認知度や発信力を高め、地域ブランドに資するため、現在の一般的な名称から、設計者である磯崎新氏の名前を冠したネーミング（例えば「磯崎新記念館」）への変更可能性を検討してはどうか。
②大分市美術館と連携した竹細工の展示や学割導入による若者の利用促進など、施設の稼働率向上を図られたい。また、利用者の高齢化に伴い、イベント利用の増加が見込み難い市民ギャラリーについては、今後の利用・運営実態を十分に注視した上で指定管理者へ適切に助言されたい。
③主催者と参加者で意見が異なる点を考慮し、アンケートを切り分けて集計・分析されたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**大分市営温水プール**
	所在地	大分市西浜1番14号
	設置目的	市民の心身の健全な発達に寄与するため。
	施設の建築年（又は事業開始）	平成7年度
指定管理者	名称	日本水泳振興会・東急コミュニティー共同事業体（㈱日本水泳振興会・㈱東急コミュニティー）
	代表者名	(株)日本水泳振興会　代表取締役社長：坂元　要
	所在地	東京都中野区東中野3丁目18番12号
指定管理業務の内容		①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理施設の維持管理に関する業務 ④管理施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務
料金体系		【個人利用】大人：360円（260円）　高校生以下：180円（130円）　シルバー料金180円 ※（　）内は夜間・平日19時～閉館　料金 【教室】入会金：3,300円　受講料：1回（60分）1,200円 ※90分の場合は1,650円 ※月ごとの開催回数により月謝変動あり

利用料金制	導入済	選定方法		公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日　（ 5年間 ）		導入年度	１９　年度

利用者数　（単位：人）				R7年度 目標④	105,000	達成率 ①／④	96%
平成18年度② （直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	○○年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
109,317	88,229	95,570	105,039	101,395	100,528	▲ 8,789	▲ 867

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）							
直営時 管理運営経費(ｂ)	前指定期間 最終年度R5年(ｃ)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 (ａ) － (ｂ)	前指定期間比較 (ａ) － (ｃ)
60,337	50,616	50,616	50,616	57,000	57,000	▲ 3337	6384

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	59.6%	15.6%		7	27

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
令和7年度利用者数：目標105,000人（令和5年度　120,000人、令和6年度　100,000人）
令和7年度利用者数：実績100,528人（令和5年度　105,039人、令和6年度　101,395人）
●目標人数には到達しなかったものの、プール個人利用者数、大人向け教室利用者数及びフロア利用者数は、前年度と比較して増加している。
●事業計画に基づき自主事業を実施するとともに、市報やホームページによる広報を行うことで、利用者数の増加に寄与した。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
（満足・やや満足の回答率：令和4年度91%、令和5年度91%、令和6年度81%、令和7年度75%）
○回答結果では、「満足」・「やや満足」と回答した市民の割合は年々減少しているが、その主な理由は施設環境に関するものであり、施設の老朽化が大きな要因であると考えられる。
○項目別では、「満足」・「やや満足」と回答した割合が、プログラム内容92%、接客内容98%と高い水準を維持しており、ソフト面については高い評価を得ている。
○利用者からの意見や要望については適切に把握するとともに、対応可能なものについては速やかに対応している。
○施設の休館情報等についても、適宜情報提供を行い、利用者への周知に努めている。

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】
※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。

●光熱水費については高騰するなか、経費の削減を図っている。
【（電気　令和5年度：16,893,548円、令和6年度：17,237,138円、令和7年度：16,602,945円）（水道　令和5年度：22,078,272円、令和6年度：22,575,962円、令和7年度：22,488,577円）】
●自主事業収入は前年度を下回ったものの、プール個人利用者及びフロア利用者は増加しており、利用促進に向けた取組の効果が見られる。
【（R5年度：43,299,554円、R6年度：44,364,018円、R7年度：43,368,887円）】
●施設の老朽化に伴う修繕が増加しており支出が増加している。
●施設維持管理等について可能な限り職員が対応することとし経費の削減に務めている。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。

●多様な勤務ローテーションにより、効率的かつ適切な人員配置が行われている。
●人権・同和問題研修等を事業計画どおり実施しているほか、水上救助訓練やAED研修など危機管理に関する研修にも積極的に取り組んでいる。
●関係法令等に基づき、適正な管理運営が行われている。
●条例等に基づき、公平かつ平等な施設利用の確保に努めている。
●従業員による安全指導等を通じて、安全管理に適切に取り組んでいる。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。

●一部専門性のある業務、修繕については県外・市外に再委託しているが、地元業者への再委託、修繕の発注や従業員の地元雇用を行うなど地域の活性化に寄与している。

【総合評価】

【所見】　　※管理運営に対する指摘事項等を記入

これまでの指定管理者としての経験を活かし、適切な施設の維持管理に努めている。また、利用者ニーズを踏まえ、親子連れ等が利用しやすい環境整備や、競技団体等と連携したイベントを実施するなど、利用促進につながる自主事業を展開している。

【今後の対応】　　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

施設の老朽化による躯体、設備の改修が必要となっている。施設の維持管理に必要不可欠な設備については予防保全に努めるため計画的な更新を行う必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①コロナ以降は利用者数が伸びているが、直営時と比較すると減少している。適切な施設管理や集客に繋がる自主事業を行うことなどにより市民の心身の健康に寄与するよう、運営指導されたい。	指定管理者に対し、自主事業の充実や利用促進に向けた取組を行うよう指導するとともに、親子連れ等が利用しやすいようプールの一部を水深1メートルに設定し、自由遊泳スペースを確保するなど利用環境の充実に取り組んでおります。また、日本水泳連盟及び大分県水泳連盟と連携した特別泳力検定や、オリンピアンによるレッスン・サイン会などの自主事業を実施しております。市としては、これらの取組状況を適切に確認・評価しながら、引き続き利用者の増加及び市民の心身の健康増進につながる施設運営が図られるよう、指定管理者を指導してまいります。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①施設の老朽化に伴う将来的な維持コストの増加や市民ニーズを踏まえ、施設の今後の在り方を根本的に検討されたい。
②人件費の抑制を図るため、夏季の繁忙期には人員を手厚く配置し、冬季の閑散期には縮小するなど、季節変動に応じた人員配置について指導・検討されたい。
③利用者数の減少要因について、施設の老朽化だけでなく、施設の清潔感や環境への満足度などの観点からも分析されたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	企画部　スポーツ振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**大分市営陸上競技場並びに津留運動公園有料公園施設（自由広場・テニスコート）**
	所在地	大分市西浜1番1号
	設置目的	市民の体育及びレクリエーション等の用に供するため。
	施設の建築年（又は事業開始）	昭和40年
指定管理者	名称	大分リバースタジアム共同企業体（㈱グリーンフジタ・大分市陸上競技協会・㈱スポーツジョイ）
	代表者名	㈱グリーンフジタ　代表取締役　井尾　文継
	所在地	大分市中島中央2丁目2番25号
指定管理業務の内容		①施設の使用許可に関する業務　②施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③施設の維持管理及び修繕に関する業務　④施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤あらゆる世代の市民の健康づくりの拠点に関する業務　⑥その他、市長等が必要と認める業務
料金体系		【トラックフィールド】（個人利用・1名1回）　こども　100円、大学生・一般　210円 （専用利用・4時間以内）　こども　6,430円、大学生・一般　12,870円 【トレーニングルーム】こども　100円、大学生・一般　210円 【野球場】（1時間）こども　230円、大学生・一般　460円 【テニスコート】（1時間）こども　220円、大学生・一般　440円　等

利用料金制	導入済	選定方法	公募
指定期間	令和４年４月１日～　令和９年３月３１日　（ ５年間）	導入年度	平成20年度

利用者数　（単位：人）				R7年度目標④	248,000	達成率 ①／④	87%
19年度② （直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	○○年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
158,713	194,131	214,199	182,461	208,536	215,492	56,779	6,956

管理運営経費の削減額（直営時比較･前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費（ｂ）	前指定期間 最終年度○○年（ｃ）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 （ａ）－（ｂ）	前指定期間比較 （ａ）－（ｃ）
63,170	60,092	60,000	60,000	60,000	60,000	▲ 3,170	▲ 92

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	62%	11%		6	12

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。
令和７年度利用者数：目標　248,000人　（令和3年度　245,000人、令和4年度　248,000人、令和5年度　172,000人、令和6年度　248,000人）
令和７年度利用者数：実績　215,492人　（令和3年度　194,131人、令和4年度　214,199人、令和5年度　182,461人、令和6年度　208,536人）
○陸上競技場の専用使用について、件数は横ばいだが、人数は増加した。個人利用についても全年齢層で利用者数が増加しており、回数券の利用者の増加、部活動の減少を上回るクラブチームの増加が要因として分析されている。
○事業計画どおり行われており、ホームページやＳＮＳを利用した広報により、利用者数の増加に寄与している。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。
○利用者アンケートの利用者満足度の達成度「清掃・安全管理」59%（目標値80%以上）「職員の対応」85%（目標値90%以上）であり、「清掃・安全管理」は、施設の老朽化による満足度の低下が挙げられる。「職員の対応」については、目標値には到達していないが概ね高い評価を得られている。（実施方法：受付窓口にアンケート用紙を設置し、来場者へアンケート回答の協力やHPにアンケートページを掲載し依頼している。）
（清掃・安全管理　令和4年度　73.0%、令和5年度　57.7%、令和6年度　60.9%　職員の対応：令和4年度　84.7%、令和5年度　85.3%、令和6年度　83.5%）

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】
※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。
○光熱水費について、九州電力との大口契約が終了したため、約1,300千円増加している。（光熱水費　令和4年度：8,049千円、令和5年度：6,694千円、令和6年度：8,359千円、令和7年度：9,641千円）
○施設の維持管理において可能な限り職員が行い、経費削減に努めている。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。
○法令に基づき適正に運営されている。
○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。
○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。
○計画よりも多く支出している項目があるが、他の費用の削減に取り組んだことにより、適正な状況である。
○備品については、大分市と協議を行いながら適切な管理・運用に努めてもらいたい。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。
○人権・同和問題研修や、個人情報保護研修を実施するとともに、心肺蘇生講習会や接遇研修も実施している。
○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。

【総合評価】

【所見】　※管理運営に対する指摘事項等を記入
これまでの指定管理の実績を生かして、教室の開催時間や内容を利用者ニーズに沿った内容に変更するなどの取り組みを行い、利用者数確保に向けた取り組みを行っている。施設内の清掃や職員の対応にも高い評価を得られており、適正な施設運営がなされていると評価できる。
【今後の対応】　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入
施設管理について、老朽化による修繕や施設の各備品の修理などが多くなっていることから、重大な事故・故障等の発生防止に向け、施設所管課と連絡を取りながら、入念な点検・計画的な営繕に努める必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①アンケート内容について、問題点の所在明確化と有効分析に向けた調査項目の追加を検討されたい。 **②アンケートの要望にある利用時間の延長について、費用対効果を踏まえて早急に検討されたい。** **③海や川の近くに立地する施設であるため、指定管理者に対し、リスク管理の指導をしっかりと行われたい。**	①現在のアンケートについては、安全管理に関する設問を独立して設けるなど、課題をより的確に把握・分析できる内容となるよう改善してまいります。 ②利用時間の延長については、費用対効果の観点から検討を行いましたが、人件費や光熱水費等の運営経費の増加に加え、専門知識を有するスタッフの確保が課題となっています。また、現時点では利用時間を延長した場合でも利用者数の大幅な増加は見込みにくく、十分な費用対効果が期待できないことから、現時点での実施は難しいと判断しております。今後も利用状況等を注視しながら必要に応じて検討してまいります。 ③指定管理者に対し、各部屋への避難マップ及び避難誘導マップの設置、スタッフ向け防災対策マニュアルの更新や防災訓練の実施などを指導し、有事における利用者の安全確保と施設の適正な管理に努めております。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①アンケートにおいて「職員の対応」が事業者の設定した目標値に達していない。接遇研修の回数や時間を増やすなどの対策を指導・検討されたい。
②施設予約が発生していないため、受託者側で本来見込んでいた経費がかからず、業務に要する費用が減少しているのであれば、その減少分を踏まえて業務委託料を減額できないか確認されたい。
③利用者数の増加に伴い自主事業収入が倍増している。どのような取組が成果に繋がったのか具体的に分析し、他施設の指導における参考にされたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	コンパルホール
	所在地	大分市府内町1丁目5番38号
	設置目的	市民文化の創造に寄与するとともに、市民生活の向上を図るため
	施設の建築年（又は事業開始	昭和60年度
指定管理者	名称	コンパルホール共同事業体
	代表者名	代表構成員コンベンション・リンケージ　代表取締役　平位　博昭
	所在地	東京都千代田区三番町２番地
指定管理業務の内容		①コンパルホールの使用許可に関する業務 ②コンパルホールの使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③コンパルホール（大分市民図書館コンパルホール分館・大分市男女共同参画センターを含む。）の施設及び設備の維持に関する業務 ④コンパルホールの利用促進及び文化とスポーツの振興を図る業務 ⑤教室・講座、イベント等の自主事業の実施に関する業務 ⑥その他コンパルホールの運営管理に関して市長等が必要と認める業務
料金体系		【文化ホール】20,280円～91,260円　【多目的ホール】17,760円～79,950円 【会議室】400円～1,320円　【体育室】7,000円（全部使用・1時間あたり）　等

利用料金制	導入済	選定方法	公募
指定期間	令和4年4月1日～　令和9年3月31日　（5年間）	導入年度	平成23年度

利用者数　（単位：人）				R7年度目標④		達成率①／④	
H 22年度②（直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	H22年度比①－②	R6年度比①－③
541,857	292,335	354,007	469,360	437,196	436,985	▲ 104,872	▲ 211

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時管理運営経費(ｂ)	前指定期間最終年度R3年(ｃ)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較（ａ）－（ｂ）	前指定期間比較（ａ）－（ｃ）
159,200	175,537	153,781	142,038	139,560	139,880	▲ 19,320	▲ 35,657

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	94			28	20

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
令和7年度利用者数（目標）450,000人（令和3年度：619,500人、令和4年度：619,500人、令和5年度619,500人、令和6年度450,000人）
令和7年度利用者数（実績）436,985人（令和3年度：292,335人、令和4年度：354,007人、令和5年度469,360人、令和6年度437,196人）
〇文化ホールトイレ洋式化工事の影響もあり、利用者が前年度よりわずかに減少、目標値を達成することができなかった。
〇自主事業、教室講座はおおむね計画通り実施することができた。
〇Facebook、Instagramにて情報発信を行い認知度の向上に努めた。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
〇利用者アンケート（10月・3月の2回実施、サンプル数合計297）「受付対応について」とても良い/良いの割合は94.5%で、目標の81%を達成（令和4年度：96.7%、令和5年度:97.0、令和6年度:96.4）
〇自主事業満足度アンケート（サンプル数3,846）満足度平均95.1%（令和4年度：95.4%、令和5年度:95.1、令和6年度:94.0）
〇「退出時チェックシート」にて苦情・意見・要望の把握に努め、受付窓口等で承ったものと併せて全て翌月次報告にて対応を報告している。
以上より受付対応から自主事業に及ぶまで高い水準で満足を得られており、利用者の意見に真摯に対応していると評価できる。

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】
〇電力会社を見直しを実施した結果、光熱水費を削減することができた。（R6年度比8,446,214千円減）
〇備品の適正管理を行う事で、備品購入費や修繕費の経費削減に努めている。
〇利用料収入が980,990円増加（R6年度比）した。資格試験などの大口の利用や駐車場利用者の増加が要因と思われる。
〇自主事業費収入が1,956,574円増加（R6年度比）した。備品の持ち込み手配などの増加、教室講座の増加が要因と思われる。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】
〇正社員とパートを事業計画書に基づき配置し、必要な有資格者も適正に配置している。また、過去の実績に基づき従業員のシフトを組んで、従業員の休暇取得にも配慮している。
〇基本研修（マナー、接遇、苦情対応や介助人権等）や専門研修（自主事業企画運営）、外部講習（修了証取得含む）を実施し、スタッフのスキルアップを図っている。
〇毎月第1水曜日に三館実務者定例会議を実施し、連絡事項や共通課題、相互連携等について協議している。
障害者就労支援団体と連携した「ふない天神町ごえん市」や「コンパルホール合唱団育成事業」など市民参加型の自主事業や働く場の創造支援を行い、地域活性化に寄与している。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】
〇法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得てから実施している。
〇受付マニュアル、安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、市民の平等な利用の確保や事故発生、非常災害時等における対応フローを確立している。
〇定期的に消防・防災訓練ならびに安全研修を実施しており、対応フローの共有や消防設備配置・避難経路の確認を直営施設（図書館・男女センター）を含むコンパルホール全体で行っている。
〇不具合や故障発生に起因する修繕案件は事前に事象発生の報告書提出があり、対応決定後月次報告書内で報告、適切に実施している。また、日常点検結果や利用者のご意見を踏まえて早急に対応している。

【総合評価】

【所見】　　※管理運営に対する指摘事項等を記入

分野別の利用者アンケートや館長ポスト等様々な形で利用者の苦情・要望・意見の把握に努めており、評価指標のあるアンケートで高評価を受けていることからも、その姿勢が広く利用者に評価されていることがうかがえる。
　また、検討や対応完了の段階で漏れなく所管課へ相談や報告があり、密な連携がとれていることも適切な対応・利用者サービスの維持向上に努めていると評価できる。
　近年は施設の老朽化に伴うトラブル発生や改修工事に伴う現場の調整・管理、利用者への対応等が発生しており、企画業務が圧迫されている。スタッフの適正な労働環境を維持するとともに、新規事業への人員確保等に工夫・検討に努める必要がある。

【今後の対応】　　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

施設の老朽化に伴う設備補修など、近年は事後保全の対応件数が増加している。施設の維持管理に必要不可欠な設備については計画的に更新を行うなど予防保全への取り組みを強化する必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①施設のより効果的な活用を図るため、同様の施設との棲み分けや利活用方法について今一度検討されたい。 **②収支決算書の費用明細については、内容を十分に把握し、適切な運営がされているか確認されたい。不明点があれば、明確に分かる報告書の提出を要請するなど、十分に管理されたい。** **③障がい者の職場体験等を実施していることから、その後の障がい者雇用について検討するよう協議されたい。**	①市有施設を活用した中心部の活性化部会において、利活用の方法等について検討を進めているところである。 ②明細を確認し、適切な運営がされているのか確認をしている。 ③障がい者雇用について検討するよう指定管理者と協議済みであり、R8年6月10日～8月31日の期間で障がい者対象の求人情報を公開中である。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①施設の老朽化や類似施設の存在などを踏まえ、引き続き施設の在り方について検討されたい。
②事業報告書の中で、部屋毎の稼働率だけでなく、稼働時間も明示できないか検討されたい。
③広告費における投資と節減を明確にするとともに、効率的なシフト編成による人員配置を行うなど、適正なコスト管理に努められたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	住宅課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月25日
施設種別	基盤施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**市営住宅（一部）**
	所在地	大分市大津町二丁目6番地　他
	設置目的	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を設備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
	施設の建築年（又は事業開始）	
指定管理者	名称	大分県住宅供給公社（2,773戸）
	代表者名	大分県住宅供給公社　理事長　渡辺　文雄
	所在地	大分市城崎町1丁目2番3号
指定管理業務の内容		①入居者の公募並びに入居及び退去に関する業務 ②入居者の指導及び管理に関する業務 ③家賃及び駐車場使用料の収納に関する業務 ④市営住宅及び共同施設の維持管理並びに修繕に関する業務 ⑤その他、市長が特に必要と認める業務
料金体系		（家賃）公営住宅法施行令第2条に規定する方法により算出した額 （駐車場使用料）大分市営住宅等駐車場の管理に関する要領に規定する方法により算出した額

利用料金制	未導入	選定方法	任意指定
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（ 5 年間）	導入年度	平成23年度

利用者数　（単位：人）				R7年度目標④	98.50	達成率 ①／④	101%
○○年度② （直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	○○年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
97.98	99.96	99.95	99.88	99.72	99.74	1.76	0.02

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費（ｂ）	前指定期間 最終年度○○年（ｃ）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 （ａ）－（ｂ）	前指定期間比較 （ａ）－（ｃ）
84,247	39,722	43,000	43,000	43,000	43,000	-41,247	3,278

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	54.25	11.85		23	18

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
○定期巡回等により、事故やトラブルの未然防止等に努めている。さらに、利用者からの施設の修繕に関する相談への対応も高く評価できる。
参考：アンケート調査において、修繕に関する相談をした際の対応について満足度93.73%、修繕の対応の迅速さについて満足度95.04%以上が「普通以上」と回答している。
○ホームページで市営住宅の情報の発信を行うことにより、幅広く広報がなされている。また、ホームページは可能な限り最新の状態に更新できるように心がけており、情報を漏れなく市民に伝えることができている。
○掲示物や設置物等の要望には、可能な限り対応しており、入居者の施設内での生活の利便性向上を目指して数多くの取組を実行している。
○自主事業は計画していない。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
○利用者アンケートの結果、利用者の満足度「普通以上92%以上」という目標を達成し（95.63%）、利用者の満足度が高いことが認められる。なお、アンケートは郵送配布し、回収は郵送又は持参としている。サンプル数は902件のうち、有効回答801件である。
○前年度の利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は94.21%が普通以上の回答であったのに対して、今年度は95.63%となっている。前年度より1.42%満足度が高いという結果となった。
○満足度上昇の要因としては、修繕対応時の迅速な対応、窓口での対応に取り組んできた結果と思われる。
○また、訪問介護及びヘルパー等のための設備の充実（駐車場など）を求める意見が多かった。指定管理者が対応可能な範囲内において適切に対応するように努める必要がある。
○団地内での連絡事項については、事前に管理人を通じて文書の回覧等を行い、入居者全体に連絡をするようにしており、事務連絡の遺漏がないように効率的な手段を確立している。

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】
○管理運営費については、令和7年度実績が64,529,059円となっており、令和6年度実績が65,868,500円となっている。前年度比で1,339,441円の経費削減を行っている。
○このうち8割以上を人件費によって削減しており、毎年経費が上昇する情勢のなか、指定管理者の切実な努力がうかがえる。
○一方で収入増加につながる退去修繕費については、前年度比で約500万円削減されている。この点については収入減少につながりかねないため、重点的な取り組みを求めていく。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】
○法令等に違反する行為は見受けられておらず、関係法令の遵守に努めている。
○個人情報保護に関する研修を実施する、個人情報を持ち出す際は使用目的・持ち出し時間等がわかるよう記録するなど適切な対応がとられている。
○偏った対応は認められておらず、市民に対する平等な対応をしていることが伺える。
○他の公営住宅や民間賃貸住宅の管理も手掛けており、安定的な経営が行われている。
○事故等に対し迅速な対応ができるよう安全管理・危機管理マニュアルを策定し、緊急連絡体制を確立している。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】
地元の企業も参加した入札を実施している。

【総合評価】

【所見】
○現年度過年度合わせた徴収率は97.59%となり、前5年間と比較しても高い徴収率となっていることから、指定管理者の着実な努力がうかがえる。
○また、入居者からのアンケートでも満足度が高く、これまでの経験により蓄積されたノウハウを活かし、入居者からの要望や苦情に対し、迅速かつ的確に対応できる体制となっていることも評価できる。
【今後の対応】
入居者アンケートで訪問介護及びヘルパー等のための設備の充実（駐車場など）を求める意見が出ていた。今後この類の課題が増えていくことが予想されるため、指定管理者と情報を共有し、解決につとめていきたい。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①同種の業務を行う他社と比較すると、管理１戸当たりの人件費が大きい。委託費の算定基準として、１人当たりの管理戸数基準の設定等、基準の導入を検討されたい。 ②同種の業務を行う他社間において、それぞれが持つノウハウを共有できる場を持つことを検討されたい。 ③アンケートを集計するに対しては、年齢別の満足度も調査するなど、利用者ニーズをより正確に把握するよう指導されたい。	①大分市で人件費の基準を定めてしまうと、指定管理者の柔軟な対応を狭めることになりかねないため、対応は難しい。年間の最低目標募集戸数を定めるなどで対応していきたい。 ②それぞれが抱える課題などを共有できる場を設け、有意義な会議を行った。 ③来年度から年齢別の満足度調査についても取り入れていきたい。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①住宅供給公社の保守点検費と人件費について、予算と決算の乖離の解消や、1戸当たりの人件費といった積算基準の導入、退去時の修繕費基準の引下げについて、検討されたい。
②市の仲介のもと、別大興産と住宅供給公社の間でノウハウを共有するなど、互いの強み・弱みを補完し合う連携体制を構築されたい。

所見評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	住宅課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月25日
施設種別	基盤施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**市営住宅（一部）**
	所在地	大分市大字荏隈910番地1　他
	設置目的	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を設備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
	施設の建築年（又は事業開始）	
指定管理者	名称	(株)別大興産（2,189戸）
	代表者名	(株)別大興産　代表取締役　伊勢戸　啓司
	所在地	別府市餅ヶ浜10番8号
指定管理業務の内容		①入居者の公募並びに入居及び退去に関する業務 ②入居者の指導及び管理に関する業務 ③家賃及び駐車場使用料の収納に関する業務 ④市営住宅及び共同施設の維持管理並びに修繕に関する業務 ⑤その他、市長が特に必要と認める業務
料金体系		（家賃）公営住宅法施行令第2条に規定する方法により算出した額 （駐車場使用料）大分市営住宅等駐車場の管理に関する要領に規定する方法により算出した額

利用料金制	未導入	選定方法	公募
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（ 5 年間）	導入年度	平成26年度

利用者数 （単位：人）			R7年度 目標④	98.50	達成率 ①／④	101%
○○年度② （直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	○○年度比 ①－②	R6年度比 ①－③
97.98	99.70	99.78	99.91	99.79	99.75	1.77	-0.04

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）							
直営時 管理運営経費（ｂ）	前指定期間 最終年度○○年（ｃ）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 （ａ）－（ｂ）	前指定期間比較 （ａ）－（ｃ）
69,760	28,722	31,000	31,000	31,000	31,000	-38,760	2,278

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	56.57	12.68		23	7

2. 評価結果

評　価　項　目

施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】

1　事業計画の達成度

事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。

施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。

施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。

自主事業は計画どおり実施されたか。

【評価の理由】
○定期巡回等により、事故やトラブルの未然防止等に努めている。さらに、利用者からの施設の修繕に関する相談への対応も高く評価できる。
参考：アンケート調査において、修繕に関する相談をした際の対応について満足度93.60%、修繕の対応の迅速さについて満足度95.93%以上が「普通以上」と回答している。
○ホームページで市営住宅の情報の発信を行うことにより、幅広く広報がなされている。また、ホームページは可能な限り最新の状態に更新できるように心がけており、情報を漏れなく市民に伝えることができている。
○掲示物や設置物等の要望には、可能な限り対応しており、入居者の施設内での生活の利便性向上を目指して数多くの取組を実行している。
○自主事業は計画していない。

2　利用者の満足度

利用者の満足度が得られているか。

利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。

【評価の理由】
○利用者アンケートの結果、利用者の満足度「普通以上92%以上」という目標を達成し（95.15%）、利用者の満足度が高いことが認められる。
　なお、アンケートは郵送配布し、回収は郵送又は持参としている。サンプル数は712件のうち、有効回答660件である。
○前年度の利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は94.40%が普通以上の回答であったのに対して、今年度は95.15%となっている。前年度より0.75%満足度が高いという結果となった。
○満足度上昇の要因としては、修繕対応時の迅速な対応、高齢者・障がい者へ窓口での丁寧な対応に取り組んだ結果と思われる。
○団地内で行われるものについては、事前に管理人を通じて文書の回覧等を行い、入居者全体に連絡をするようにしており、事務連絡の遺漏がないように効率的な手段を確立している。

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1　管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】
○管理運営費について、R7年度実績が33,964,196円となっており、R6年度実績が33,685,421円となっている。前年度比で278,775円の増加となっているが、物価高騰のなか、指定管理者の切実な努力がうかがえる。
○一方で収入増加につながる退去修繕費については、前年度比で約300万円削減されている。この点については収入減少につながりかねないため、重点的な取り組みを求めていく。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1　適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】
○職員の配置や勤務体制は良好であり、問題は認められない。
○市営住宅管理業務研修等の独自で行っている研修に加えて、大分市で行っている人権・同和問題研修や、リスクマネジメント研修、コンプライアンス研修等にも参加している。
○自治会や周辺住民からの要望にも対応しており、地域協働に積極的である。さらに、必要な場合には関係団体との連携を行い、迅速な問題解決に努めている。

2　地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】
地元企業も参加した入札を実施している。

【総合評価】

【所見】

現年度過年度合わせた徴収率は98.88%となり、前5年間と比較して高い徴収率となっていることから、指定管理者の着実な努力がうかがえる。また、入居者からのアンケートでも満足度が高く、これまでの経験により蓄積されたノウハウを活かし、入居者からの要望や苦情に対し、迅速かつ的確に対応できる体制となっていることも評価できる。

【今後の対応】

現年収納率の目標指標（98.5%）の確保はもちろんのこと、現年99%以上及び前年度以上の収納率の確保に向け収納強化を図るよう要請するとともに、滞納者へは分割納付など個々の生活状況に応じた納付相談に対応することで、滞納額の増加を防ぎ、未収金の減少が図られるよう監督・指導を行っていく。また、修繕費の効率的な運用を図り、募集住戸を増やすなど入居率向上への取組を強化したい。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①ランサムウェア被害の事案発生時には、指定管理者が協定書を遵守していなかったことに起因して、市営住宅入居者の個人情報が漏洩するリスクが増大した。今後このようなことがないように、協定書の遵守及び個人情報の保護について指導されたい。また、当該協定違反について、担当課の評価が曖昧な点が見受けられた。公正な評価を実施されたい。 ②大分県住宅供給公社との間で、それぞれが持つノウハウを共有できる場を持つことを検討されたい。 ③アンケートを集計するにあたっては、年齢別の満足度も調査するなど、利用者ニーズを正確に把握するよう指導されたい。	①協定書の遵守及び個人情報の保護について損害賠償、信用失墜等につながる恐れがあることから口頭及び文書で指導を行い、業務改善報告書の提出を求め、個人情報に関する業務について大分市が貸与した端末のみで処理を行うことを確認した。 ②それぞれが抱える課題などを共有できる場を設け、有意義な会議を行った。 ③来年度から年齢別の満足度調査についても取り入れていきたい。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①個人情報保護について、ランサムウェア被害直後の対応に留まらず、その後の継続的な取組についても検討されたい。
②市の仲介のもと、別大興産と住宅供給公社の間でノウハウを共有するなど、互いの強み・弱みを補完し合う連携体制を構築されたい。

6段階評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	社会教育課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月22日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	関崎海星館（JX金属 関崎みらい海星館）
	所在地	大分市大字佐賀関4057番地の419
	設置目的	海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより市民の知識及び教養の向上を図るとともに、豊かな自然環境の下での余暇の活用に資すること。
	施設の建築年（又は事業開始）	平成7年
指定管理者	名称	大分エージェンシー㈱
	代表者名	代表取締役　高倉　康弘
	所在地	大分市法勝台1丁目1番13号
指定管理業務の内容		①管理施設の運営業務 ②管理物件の維持管理業務 ③管理施設の利用促進、生涯学習の振興、地域の振興に関する業務 ④その他の業務 ⑤経営管理業務 ⑥前号に掲げるもののほか、大分市教育委員会又は指定管理者が必要と認める業務
料金体系		入館料：無料 観覧料：天体観測　（個人）中学生以下／無料、高校生等／310円、一般／630円 （団体）中学生以下／無料、高校生等／240円、一般／500円　※10人以上から団体割引の対象 プラネタリウム（個人）未就学児／無料、小・中・高校生等／270円、大人／540円 （団体）未就学児／無料、小・中・高校生等／210円、大人／430円　※10人以上から団体割引の対象 その他：（双眼鏡使用料）1回／100円（2分間）

利用料金制	導入済	選定方法	公募
指定期間	令和５年　４月　１日～ 令和10年　３月　31日　（ ５ 年間	導入年度	平成 23 年度

利用者数　（単位：人）				R7年度目標④		達成率①／④	
					51,000		89%
22年度②（直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	22年度比①－②	R6年度比①－③
14,669	29,391	5,458	47,595	50,899	45,302	30,633	▲ 5,597

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時管理運営経費(ｂ)	前指定期間最終年度R4年(ｃ)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較（ａ）－（ｂ）	前指定期間比較（ａ）－（ｃ）
27,760	4,668	4,668	39,000	36,500	36,500	8,740	31,832

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	71.3	25.2		7	7

2. 評価結果

評価項目／【配点】	評価 特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】					
1　事業計画の達成度　／　【配点３０点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（１０点）	10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（１２点）	12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 ○プラネタリウム、天体観測会等を通じて、海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより、市民の知識及び教養の向上を図った。 ○アサギマダラの飛来を促す工夫をはじめ、植栽も四季折々に楽しめるよう管理しており、ロケーションの特性を生かした取組を行った。 ○HP、SNS（フェイスブックやインスタグラムやＸ）等を利用し、旬な話題を提供するとともに、現に検索されている項目を調査することにより、市民ニーズの把握に努めた。 ○皆既月食をYouTube配信したほか、火球や彗星等の天文現象についてもメディアに映像を提供するなど、施設の広報をすることができた。 ○学校新聞を配布し、こどもや家族連れの利用促進を図った。 ○令和７年度利用者数は45,302人で前年に比べ5,597人減少。令和５年度の施設リニューアル以降利用者数が減少傾向にあるなか、月ごとに見ると、開館30周年記念イベントを実施した８月、無料プラネタリウム上映を行った３月の利用者数は前年より増加している。更なる広報等、全体的な利用者増につなげる取組が課題である。					
2　利用者の満足度　／　【配点２０点】					
利用者の満足度が得られているか。（１０点）	10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（５点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ○施設に対する総合評価のうち、「とても良い施設」、「良い施設」の割合が約96%であり、施設利用者の満足を得られている。 ○利用者アンケートは入館無料スペースに設置し、いつでも誰でも記入できるようにした。 ○自動販売機で販売するパンの仕入れについて、利用者の声をできるだけ反映している。 ○利用者からの交通アクセスに関する意見への対応として、グリーンスローモビリティを運行し、利便性の向上を図った。また、寄せられた道路への苦情については積極的に県土木事務所へ報告している。					

効率性の向上等に関する取組【効率性】					
1　管理運営の効率性　／　【配点１５点】					
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（５点）	5	4	2.5	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
収入増加のための取組はされているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、点検、修繕等の施設維持管理業務において経費の縮減に努めた。 ○ワークショップ外注による経費を削減するため、スタッフ運営による開催を増やし、支出抑制につなげた。 ○観覧料収入は3,707,510円で、令和５年度リニューアル後に増加した観覧料収入が、令和６年度に比べ523,650円減少している。HPによる広報や学校等での出張教室も行っているが、観覧料収入を増加させる取り組みが課題である。（R8年度からSNSで写真や動画を利用した広報改善を行っている。）					
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】					
1　適正な管理運営　／　【配点３０点】					
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
【評価の理由】 ○事業計画通りの人員配置、勤務体制であった。イベント等の繁忙期には、駐車場誘導等の警備を外部に委託するなど、安全な運営に努めた。 ○事故発生につながる危険な行為を早期発見するため、1日3回以上の施設内循環を行った。また、労働関係法令の遵守に努めた。 ○日常点検マニュアル等を作成し、定期的な研修を通して、緊急時に適切な対応が取れるよう措置を講じた。 ○個人情報は厳重に保管している。またマニュアルを整備し、研修などで周知徹底を図っている。 ○施設の内観、外観の見回りを毎日行い、不具合を発見した際は迅速な修繕対応を行った。 ○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、管理物件の修繕、点検等適切に行った。 ○安全管理マニュアルを整備しており、適宜行う防災訓練等を通じて体制の確保に努めた。 ○視覚障害のある方への配慮として、歩行訓練士の方へ現地確認を依頼した。（展示物へ点字表記を追加予定。）					
2　地域貢献　／　【配点５点】					
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ○海上保安部とのイベントの共催、職業体験の受け入れ、関係団体の展示コーナー設置、地元の方や佐賀関支所等との意見交換等を通じて地域や関係団体との連携、協働を図った。 ○地域おこし協力隊と連携し、佐賀関のランチマップを配布した。 ○佐賀関大規模火災被災者への募金活動を直ちに実施したほか、海星館や佐賀関小学校で復興支援イベントを開催したり、おおいた勤労者サービスセンターの復興支援企画に参加するなど、地域貢献に努めた。					

【総合評価】

合計得点（100点満点）	74.5	評価ランク（Ｓ～Ｅ）	B

【評価の理由】　※管理運営に対する指摘事項等を記入

天体望遠鏡、プラネタリウムを活用した事業を実施するとともに、美しい景色を生かした植栽管理、アサギマダラの飛来を促す環境作り、関係団体等との協力・連携等、教育面、観光面の両視点で集客力向上のための工夫を凝らしている。利用者アンケートによる満足度も非常に高く、指定管理業務について高い水準で行われているものと判断する。令和７年度の収支は物販等の自主事業を含めても赤字であり、赤字解消のため、利用者数や利用料収入の増加に向けた取り組みが今後の課題である。

【今後の対応】　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

プラネタリウムや天体望遠鏡、展示設備を最大限活かせるように、SNS等を活用した広報活動や出張教室等の入館者数増加に向けた取り組みを継続していき、植栽による美しい景観や関崎灯台も含めた観光面についても引き続き情報発信を行い、施設の利用促進に努める。
また、アクセス道路については、改善に向けて今後とも引き続き大分県へ要望を行う。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①ＳＮＳの発信について、より集客に繋がるよう、内容の改善を図るべく指導されたい。 ②自主事業での出張教室については、施設の集客に繋げるよう指導するとともに、実施したことによる効果について報告するよう指導されたい。 ③来館者の分析を行い、分析に基づいた広報活動を行うよう指導されたい。	①写真や動画の投稿を増やすよう依頼した。ワークショップの募集については、完成品の写真を載せたチラシも掲載している。 ②出張教室ではパンフレット配布や施設紹介を行い、集客に繋げている。今後は学習補助として主に教育施設で出張教室行うため、集客効果は低くなるが、効果の検証方法について検討する。 ③市内からの来館者が約８割を占めているため、市HP掲載や市報掲載等、市と連携して広報を行う。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①事業における活動状況及び収支計上を明確にすべく、状況をしっかり把握し、是正に向け指導・対策を検討されたい。その上で、今後の施設全体の方向性について検討されたい。
②自主事業の内容や収支を市が十分にチェック・指導できる体制を確立するとともに、計画以上の事業実施による人件費増や職員の疲弊を防ぐため、適正かつ持続可能な管理運営に取り組まれたい。
③集客力向上のため、利用者への聞き取りなど一歩踏み込んだ調査や、他の公共施設へのポスター掲示などによる積極的な広報展開を検討されたい。

6段階評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	文化施設

1. 指定概要

施設概要	名称	**ホルトホール大分**
	所在地	大分市金池南1丁目5番1号
	設置目的	文化、福祉、健康、産業及び教育の拠点機能を複合し、有機的かつ効果的に連携させた集い・学び・憩い・賑わい・交流の場を創出することにより、大分の人と文化と産業を育み、創造し、発信するとともに、市民の豊かで充実した暮らしの実現に寄与すること。
	施設の建築年（又は事業開始	平成24年度
指定管理者	名称	ホルトホール大分みらい共同事業体（日本管財㈱九州本部・㈱クラフティア・㈱コンベンションリンケージ・㈱プランニング大分・学校法人後藤学園）
	代表者名	日本管財㈱九州本部　本部長　宮崎　大輔
	所在地	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
指定管理業務の内容		①運営管理施設の運営管理に関する業務 ②運営管理施設の使用許可に関する業務 ③運営管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ④運営管理物件における自主事業の実施に関する業務 ⑤運営管理施設の利用促進及び文化、福祉、健康、産業及び教育の振興を図る業務 ⑥その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務
料金体系		【大ホール】　無料公演　39,360円～131,500円(平日)・47,210円～157,820円（土日）／有料公演　56,180円～338,050円（平日）・67,460円～405,760円（土日） 【小ホール】　無料公演　8,240円～27,560円(平日)・9,780円～32,970円(土日)／有料公演　11,710円～70,690円(平日)・14,030円～84,870円(土日) 【会議室】　1時間あたり400円～4,060円　　【トレーニングルーム】　個人1回につき360円　等

利用料金制	導入済	選定方法	公募
指定期間	令和６年４月１日～令和１０年３月31日（ ４年間）	導入年度	平成２５年度

利用者数　（単位：人）				R7年度目標④		達成率①／④	
					700,000		83%
H25年度②（直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	○○年度比①－②	R6年度比①－③
475,046	350,511	484,375	596,917	577,493	581,823	106,777	4,330

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）

導入1年目指定管理料（ｂ）	前指定期間最終年度R5年（ｃ）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較（ａ）－（ｂ）	前指定期間比較（ａ）－（ｃ）
178,283	283,957	284,262	283,957	299,970	299,970	121,687	16,013

利用者満足度（%）			配置職員数（人）		
満足	やや満足		直営時又は導入1年目	令和7年度	
75.0	14.3		52	73	

2. 評価結果

評価項目／【配点】	評価 特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】					
1　事業計画の達成度　／　【配点３０点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（１０点）	10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（１２点）	12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0

【評価の理由】
利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。
（利用者数　R2年度:289,648人　R3年度：350,511人　R4年度：484,375人　R5年度：596,917人　R6年度:577,493人　R7年度:581,823人）
○事業計画に従い、適切に施設の管理運営が行われた。
○利用者数は前年度と比べて4,330人増加した。R5年度は近隣ホールの改修により市民ホールの需要が高まり、一時的に利用者増に繋がっていたが、近隣ホールの利用再開とともに、R6年度以降は利用者が分散したと思われる。
○全館連携の「ホルトホール大分まつり」をはじめ、各施設の特色を活かした講座やイベントを実施するなど、複合施設の特色を活かしたと組みを実施している。
○自主事業は計画どおり実施され、アンケートでも好評を得ている。

2　利用者の満足度　／　【配点２０点】					
利用者の満足度が得られているか。（１０点）	10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（５点）	5	4	2.5	1	0

【評価の理由】
利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。
○令和7年度に実施した利用者アンケートでの利用者満足度は89.3%であり、目標の90%にわずかに届かなかったものの、概ね良好な水準を維持している。
○利用者からの苦情・要望については、適宜市へ報告・相談のうえ対応しており、その経緯も報告書に適切に記録されている。

効率性の向上等に関する取組【効率性】					
1　管理運営の効率性　／　【配点１５点】					
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（５点）	5	4	2.5	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
収入増加のための取組はされているか。（５点）	5	4	2.5	1	0

【評価の理由】
※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。
（指定管理料（千円）R2年度：316,514　R3年度：308,157　R4年度：284,262　R5年度：283,957　R6年度：299,970　R7年度：299,970 ）
○課題であった光熱水費について、新電力会社への切り替えや節電の徹底を行った結果前年度実績から△650万円となるなど、経費削減への取り組みが評価できる。
○再委託を行う際は、報告を受け、業務内容や経費について確認を行っている。
○助成金を積極的に活用するなど、収入増加への取り組みが評価できる。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】					
1　適正な管理運営　／　【配点３０点】					
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（４点）	4	3.2	2	0.8	0

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。
○正社員とパートを事業計画書に基づき配置し、必要な有資格者も適正に配置している。
○接遇・人権等の研修を実施し、正社員及びパートのスキルアップを図っている。
○受付マニュアル等を各施設において整備し、施設予約における公平な取扱いに努めている。
○個人情報の管理については、マニュアルの整備及び職員研修の実施等により、適正な管理体制に努めている。
○事業別に予算を設定し、毎月のモニタリングで収支を確認しており、適正な財務体制を維持している。
○施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われている。
○書類、備品の管理は適切に行われている。
○安全管理マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を実施するとともに、安全管理に必要な資格取得を促進している。
　また、備品の保守点検・補修等で安全確保に努めている。
○法令の遵守に配慮しており、業務の再委託や事業計画の変更等についても市の承認を得てから実施している。一部においてマニュアルに沿わない事例が確認されたが、その後速やか再発防止に向けた対応が図られている。

2　地域貢献　／　【配点５点】					
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（５点）	5	4	2.5	1	0

【評価の理由】
※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。
○業務委託や講師の選定に際し、市内からの雇用を積極的に進めており、地域の雇用創出に寄与している。

【総合評価】

合計得点（100点満点）	79.5	評価ランク（S～E）	B

【評価の理由】　※管理運営に対する指摘事項等を記入
　新電力会社への切り替えや積極的な助成金の利用など、効率的な管理運営に努めている。アンケート結果についてはこれまで高い満足度を維持しており、適切な接遇・マナー研修等もなされている。施設の特色を活かした取り組みを行うなど、今後よりいっそうの市民サービスの向上を期待する。
　利用者数については、目標達成とはならなかったものの、新聞、生活情報誌、SNS、公民館等へのチラシなど様々な媒体での広報や、予約の空きを利用した自主事業の実施を行うなど、ひとりでも多くの方がホルトホールに来場できるような取り組みがなされている。

【今後の対応】　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入
　利用者数は前年度より増加したものの、コロナ禍前の水準には至っていない。施設の認知度向上とあわせ、保有する設備・機能等について広く周知することで引き続き利用者数の増加に努めることが期待される。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①施設のより効果的な活用を図るため、同様の施設との棲み分けや利活用方法について今一度検討されたい。 ②ホルトホールを構成する施設の収支内容が一部不明確であった。施設別に収支状況を細部まで把握し、今後の方向性を検討する際に活用されたい。 ③人員が計画を大幅に超過している。人員管理の情報についてしっかりと把握し、指導されたい。	①より効果的な施設活用を図れるよう、引き続き検討いたしたい。 ②定期モニタリング等で収支内容の確認・ヒアリングを行うなど、把握体制の充実に努めている。 ③人員の入れ替わりに伴う一時的な超過等、引き続き人員管理の状況を適切に把握し、必要に応じて指導していく。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①指定管理料の増加傾向や類似施設の存在、PFI事業を含めたコストと運営のバランスなどを踏まえ、施設の存在意義や今後の方向性を総合的に検証・検討されたい。
②施設ごとの面積当たり利用者数の把握や、「ネット予約が難しい」等の利用過程における障壁の確認、指定管理者の裁量で改善可能な課題を抽出するアンケートの工夫など、集客力向上に向けた多角的な検証を図られたい。
③若者層へ届くようInstagramやXの発信に力を入れ、Facebookの更新頻度も増やすなど広報の強化を図られたい。

6段階評価用

令和８年度　指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年6月26日
施設種別	大分市大洲総合体育館

1. 指定概要

施設概要	名称	**大分市大洲総合体育館**
	所在地	大分市青葉町1番地
	設置目的	市民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため
	施設の建築年（又は事業開始	昭和54年（令和2年4月1日に大分県から移管を受け供用開始）
指定管理者	名称	ファビルス・プランニング大分共同企業体
	代表者名	代表団体　株式会社ファビルス　代表取締役　野田　太
	所在地	福岡県福岡市博多区上呉服町10番1号
指定管理業務の内容		①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④管理施設の利用促進及び市民の体育並びにスポーツの振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務
料金体系		【大体育室】 アマチュアスポーツ：フロア全部　6,980円/ｈ、フロア半分　3,490円/ｈ、フロア1/3　2,320円 その他：27,780円/ｈ 【小体育室】 アマチュアスポーツ：フロア全部　1,970円/ｈ、フロア半分　980円/ｈ その他：8,050円/ｈ 【柔道場、剣道場】 専用使用　アマチュアスポーツ：フロア全部　2,290円/ｈ、フロア半分　1,140円/ｈ その他：9,270円/ｈ 個人使用　230円/2ｈ 【クライミングウォール】 専用使用　照明設備使用する：940円/ｈ、使用しない：460円/ｈ 個人使用　照明設備使用する：150円/ｈ、使用しない：90円/ｈ 【ボルダリングウォール】 専用使用　照明設備使用する：520円/ｈ、使用しない：260円/ｈ 個人使用　照明設備使用する：220円/ｈ、使用しない：110円/ｈ 【トレーニングルーム】　490円/2ｈ、回数券11枚　4,900円 【第1会議室】　390円/ｈ　【第2会議室】　160円/ｈ 【第1研修室】　480円/ｈ　【第2研修室】　480円/ｈ　【役員控室】　480円/ｈ

利用料金制	導入済	選定方法		公募
指定期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和10年 3月 31日 （ 5年間）		導入年度	令和2年度

利用者数 （単位：人）		R7年度目標④	220,000	達成率①／④	98%
H21年度②（直営時又は制度導入1年目）	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度③	R７年度①	H21年度比①－②	R6年度比①－③
229,343	149,194	182,342	203,345	212,267	214,827	▲ 14,516	2,560

管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）　（単位：千円）

直営時 管理運営経費(ｂ)	前指定期間 最終年度Ｒ4年(ｃ)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(a)	直営時(初年度)比較 （ａ）－（ｂ）	前指定期間比較 （ａ）－（ｃ）
-	49,422	49,422	66,300	66,300	66,300	#VALUE!	16,878

利用者満足度（%）	満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目	令和7年度
	35	44		17	20

2. 評価結果

評価項目／【配点】	評価 特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】					
1　事業計画の達成度　／　【配点３０点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（１０点）	10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（１２点）	12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 令和7年度利用者数：目標220,000人（令和5年度　200,000人、令和6年度　210,000人） 令和7年度利用者数：実績214,827人（令和5年度　203,345人、令和6年度　212,267人） ●目標人数には到達しなかったものの、団体利用の人数及び件数、個人利用の人数は前年度と比較して増加している。また、自主事業も好調で予算を上回る収入結果となった。 ●事業計画どおり自主事業を行い、さらに随時教室を開催し市報やホームページで広報することで利用者数の増加に寄与した。					
2　利用者の満足度　／　【配点２０点】					
利用者の満足度が得られているか。（１０点）	10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（５点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ●利用者満足度　やや満足 44、満足 35となっている。（施設の設備：良い・大変良い　74、従業員の対応：良い・大変良い　84） 実施方法：令和6年度までは、紙でのアンケートを実施。令和7年度、ネットによるアンケートを実施。 （令和6年度：やや満足 40、満足 37　、　令和5年度：やや満足35、満足 33） やや満足以上は増加傾向にある。					

効率性の向上等に関する取組【効率性】					
1　管理運営の効率性　／　【配点１５点】					
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（５点）	5	4	2.5	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
収入増加のための取組はされているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ●光熱水費については高騰するなか、経費の節減を図っている。 【（電気代 令和5年度：17,403,771円、令和6年度：18,047,482、令和7年度：16,935,075）（水道 令和5年度：1,854,072、令和6年度：1,974,929、令和7年度：1,960,422）（ガス　令和5年度：5,323,830、令和6年度：6,101,267、令和7年度：6,255,149）】 ●再委託先費用は人件費が上がるなか、減となっている。（令和5年度：6,687,143、令和6年度：6,979,195、令和7年度：6,875,593） ●個人、団体共に利用者人数が増加しており、利用料収入、自主事業収入は増加している。 （令和5年度：203,345人　令和6年度：212,267人　令和7年度：214,827人）（令和5年度：50,072,749円　令和6年度：52,094,650円　令和7年度：57,527,847円） ●備品の老朽化に伴う更新が増加しており支出が増加している。 ●自主事業において、定例教室に加え、臨時教室も実施している。					

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】					
1　適正な管理運営　／　【配点３０点】					
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（３点）	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（４点）	4	3.2	2	0.8	0
【評価の理由】 ●多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置している。 ●個人情報保護研修、人権・同和問題研修だけでなく、接遇研修等の実施により品質の向上に努めている。 ●コミッション事業による施設利用が行われるなか、個人利用者数が増加している。（令和5年度：62,057人、令和6年度：64,703人、令和7年度：65,742人） ●個人情報は、鍵のかかるキャビネットや部屋に保管し、鍵は責任者が保管するなかで鍵の開閉についても責任者が管理するなど厳重に管理している。 ●従業員による安全研修を行うなど、安全管理に対して適切に対応されている。 ●法令、条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように務めている。					
2　地域貢献　／　【配点５点】					
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（５点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ●一部専門性のある業務、修繕については県外・市外に再委託しているが、地元業者への再委託、修繕の発注や従業員の地元雇用を行うなど地域の活性化に寄与している。					

【総合評価】

合計得点（100点満点）	73.4	評価ランク（S～E）	B

【評価の理由】　※管理運営に対する指摘事項等を記入

これまでの指定管理者としての経験等を活かし、施設の維持管理に努めている。また、自主事業の充実を図るため、利用者ニーズに応じた教室を開催するなど利用者の確保に向けた取り組みを行っている。さらに、施設の特性に沿った傷病者対応等の安全研修等を行うなど職員の意識向上に努めている。

【今後の対応】　※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

施設の老朽化による躯体、設備の改修が必要となっている。施設の維持管理に必要不可欠な設備については予防保全に努めるため計画的な更新を行う必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①公共施設として、市民利用とコミッション事業のバランスを取りながら管理されたい。 ②指定管理の選定に際しては、「地元企業の育成」の視点を持ち、地場企業を戦略的に選定することも検討されたい。 ③なお、ボルダリングについて、利用者が危険性を理解していたとしても事故は起こり得るし、訴訟関係のリスクは残る。自己責任を確認すべく誓約書の徴収について再検討されたい。	①市民利用を十分に確保しながら、スポーツ振興や地域活性化につながるコミッション事業を実施し、両者のバランスを図った施設運営に努めてまいります。 ②指定管理者の公募に当たっては、指定管理者制度の指針に基づき、地域要件の適用や市内団体に対する優遇措置について検討したうえで、施設の適切な管理運営を十分に確保する観点から、地場企業に限定した募集とはしておりません。一方で、修繕等の維持管理業務などの再委託業務については、地場企業の積極的な活用が図られるよう取り組んでおり、引き続き、地元雇用の創出や地域経済の活性化にも配慮した管理運営に努めてまいります。 ③ボルダリング利用時の誓約書の徴収については、指定管理者と改めて協議を行い、本年6月から利用者に対する誓約書の徴収を実施するよう整理いたしました。

【R8年度 指定管理者評価部会の意見】

①備品購入費をはじめとする個別の経費や収入の動きを十分にチェックするとともに、必要性を踏まえたメリハリのある投資ができるよう管理されたい。
②利用者数等の評価にあたっては、総数だけでなく、内訳の数値も精査した上で多角的に評価されたい。
③属性や自主事業ごとの満足度を詳細に分析できるようアンケート内容を見直し、効果的な広報や運営改善に取り組まれたい。